

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)

【令和5年度～令和9年度】

基本目標1 学ぶ～様々な学びの提供～

- 【施策1】ライフステージに応じた学びの充実
- 【施策2】共生社会の学びの支援
- 【施策3】社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実

基本目標2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実

- 【施策1】人材の育成・活用
- 【施策2】発表機会の充実や学習意欲の向上
- 【施策3】ボランティア活動の充実

基本目標3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～

- 【施策1】人材ネットワークの充実
- 【施策2】施設ネットワークの充実
- 【施策3】地域ネットワークの充実

基本目標4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～

- 【施策1】情報提供体制の強化
- 【施策2】相談体制の強化
- 【施策3】学校・家庭・地域コミュニティの連携強化

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
乳幼児期における 学びの充実	1	ママ・パパ教室 (年数不明)	赤ちゃんを産み育てていくための準備・沐浴体験を行います。	中央保健センター	令和5年度7月末までに計6回実施しました。	妊婦やその家族が、出産や子育てに関する知識や技術を習得できるよう、事業内容の工夫に努める必要があります。
	2	久喜市ママパパ支援動画 (4年目)	妊婦の方や家族の方が安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう動画を配信します。	中央保健センター	動画「こどものはみがき なぜいやがるの? はみがきテクニック編」を作成し、令和5年8月に市ホームページに掲載予定です。	多くの方に関覧していただけるよう、周知に努める必要があります。
	3	ブックスタート事業 (保健センター:年数不明) (生涯学習課:指定管理者導入5年目)	4か月児健康診査時において、未就学児とその保護者のために絵本の紹介と読み聞かせをします。	中央保健センター 菖蒲・栗橋・鷲宮 保健センター 生涯学習課	【保健センター】 4か月児健診において、ブックスタート事業の場を提供しています。 【生涯学習課】 保健センター(中央・菖蒲・栗橋・鷲宮)で実施している4か月児健診時にあわせてブックスタート事業を行うことにより、乳幼児へ向けた読書環境の強化を図ることができました。 令和5年4月～7月31日実績:221冊絵本配布(内訳:中央99冊、菖蒲18冊、栗橋26冊、鷲宮78冊)	【生涯学習課】 保健センター(中央・菖蒲・栗橋・鷲宮)と生涯学習課が連携して事業を行う必要があります。
	4	久喜市つどいの広場「きらきら」 (15年目)	乳幼児とその保護者、妊婦中の方で交流したり、子育て仲間をつくったりすることができる場を提供します。	子ども未来課	講習会4回、イベント4回、交流会11回で企画し、7月末までに講習会2回で16組、交流会4回で9組参加がありました。	参加者の減少傾向が見られるため、効果的な周知方法を考える必要があります。
	5	育児教室 (児童センター:33年目) (鷲宮児童館:41年目)	未就学児の保護者を対象に、よりよい育児の方法を考えていく場を提供します。 【児童センター】0・1歳児 【鷲宮児童館】未就学児	児童センター 鷲宮児童館	【児童センター】全8回で企画し、7月末までに4回開催しました。延べ34組の参加がありました。 【鷲宮児童館】全66回で企画し、7月末までに23回開催しました。延べ238組の参加がありました。	参加者の減少傾向が見られるため、効果的な周知方法を考える必要があります。
	6	幼児教室 (児童センター:33年目) (鷲宮児童館:41年目)	1歳から3歳の幼児とその保護者を対象に、様々な活動をとおして、集団に慣れさせていく場を提供します。 【児童センター】2・3歳 【鷲宮児童館】1歳から3歳	児童センター 鷲宮児童館	【児童センター】全8回で企画し、7月末までに4回開催しました。延べ39組の参加がありました。 【鷲宮児童館】全5回で企画し、7月末までに5回開催しました。延べ51組の参加がありました。	参加者の減少傾向が見られるため、効果的な周知方法を考える必要があります。
	7	遊びの広場、ふれあい遊び、 園庭開放 (久支セ:16年目) (栗支セ:18年目) (鷲支セ:12年目)	子どもたちが安全に楽しく遊びながら、健全に成長できる場を提供します。	各地域子育て支援センター	【久支セ】令和5年度4月から7月の間に84日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ1,301人が参加しました。園庭開放は4月から7月末までに5回実施し、延べ21人が利用しました。 【栗支セ】令和5年度4月から7月の間に83日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ2,108人が参加しました。園庭開放は4月5日に4回実施し、延べ30人が利用しました。 【鷲支セ】令和5年度4月から7月の間に83日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ3,004人が参加しました。園庭開放は毎日実施し(雨天・熱中症警戒アラート発表時を除く)、延べ906人が利用しました。	市内全域や市外の方等、幅広く利用していただけるような周知方法を考えていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
青少年期(小学生～高校生)における 学びの充実	8	市長と子どもたちとのオンラインミーティング (2年目)	市政への理解を深めてもらうとともに、夢のある幅広い子どもの意見や要望を市政に反映させるため、市長との意見交換を実施します。	市政情報課	令和5年度は、小学校5校、中学校3校の計8校で実施を予定しており、令和5年7月31日現在、中学校3校で実施しました。(栗橋東中学校、鷺宮中学校、久喜南中学校) 各学校4～5名の生徒が、市長と意見交換を行いました。	生徒からの意見を聞いただけにならないよう、進捗確認を行う必要があります。
	9	ローズバーグ市との国際交流事業 (38年目)	市内中学生のローズバーグ市への派遣及びローズバーグ市の中学生等の受入による国際交流活動を実施します。	市民生活課 指導課	【市民生活課】 令和5年度は7月10日から17日の8日間、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市の高校生10人、引率者2人を久喜市内の中学生及び高校生の家庭で受け入れました。 ローズバーグ市の高校生等は、学校体験、市内・県内見学、藍染・書道等の文化体験や受入家庭との交流などを通じて、日本の文化や伝統、習慣等について、理解を深めることができました。 また、久喜市の中学生及び高校生は、英語でコミュニケーションをとることにより語学力の向上を図ることができました。 【指導課】 令和5年度は8月2日から8月5日まで、アメリカから10名の学生と2名の引率者が来日し、市内の中学生と高校生が受け入れを実施しました。市内の施設見学やゲーム等のアクティビティを通じ双方の学生が関わりあい、最後は別れを惜しむ姿が見られるなど、交流を深めることができました。	【市民生活課】 令和5年度の受入れは、久喜市の学校の夏休み前であったため、平日は久喜市学生は学校に登校し、ローズバーグ市学生等は市内見学等を行い、休日はそれぞれのホストファミリーと過ごすことになり、両市学生が一緒に過ごす日を確保することが出来なかったため、受入時期について検討していく必要があります。 また、原油価格の高騰により、航空券料金の増額が予想されるため、予算等について検討していく必要があります。 【指導課】 市内学校が夏季休暇前で受け入れ先の学生が共に過ごせる時間が短かったため、受け入れ時期について検討していく必要があります。 令和6年度の訪米時には、燃料費等の旅費が高騰していることから予算上の課題が考えられます。
	10	子ども自然観察会 (年数不明)	生態園と施設を活用し、昆虫・植物などの自然の大切さを学びます。	環境課	令和5年度は8月5日(土)に埼玉県環境科学国際センター(加須市)の生態園で観察会を実施予定です。令和5年7月31日現在で、保護者18名、子ども22名の申し込みがありました。	生態園が屋外であるため、暑さ対策などの安全対策に万全を期す必要があります。
	11	青少年健全育成事業 (年数不明)	各青少年健全育成活動団体が主催する事業を通じて、青少年健全育成の推進を図ります。	子ども未来課	青少年育成団体(8団体)に対し、活動費補助金を交付しました。 また、各地区における青少年防犯パトロール及び啓発活動に参加しました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来実施していた事業等が縮小・中止となり、活動自体が少なくなっています。団体に対し、従来の事業にこだわらない新しい形の事業の提案等について検討する必要があります。
	12	児童館の催し・イベントの拡充 (児童センター:33年目) (鷺宮児童館:41年目)	木工作や季節の折り紙、電気教室等、子どもたちが楽しめるイベントを開催します。	児童センター 鷺宮児童館	【児童センター】 令和5年度は小学生以上向けに51事業を企画し、7月末までに14事業を開催しました。小学生以上の参加者は延べ183人でした。 【鷺宮児童館】 令和5年度は小学生以上向けに39事業を企画し、7月末までに13事業を開催しました。小学生以上の参加者は延べ166人でした。	企画により参加者の多少があるため、いかに魅力的な企画をするか、また事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。
	13	健全な遊びの場と年齢に応じた各種事業 (年数不明)	子どもたちが、自主的な活動や遊び、会館で計画する行事への参加等をおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちを育成します。	しょうぶ会館	事業:令和5年度こどもまつり 期日:令和5年8月9日(水) 会場:菖蒲運動公園管理棟周辺 対象者:菖蒲地区幼稚園・保育園園児、菖蒲地区小中学校児童生徒 定員:なし	一部のコーナーでは準備する時間が足りなかったこと、開始時間を1時間前倒しをして開催時間を2時間から3時間にすることや、金魚すくい、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、宝つりのコーナーが狭かったことなどの検討する必要があります。
	14	小学生イングリッシュキャンプ (11年目)	外国語指導教員と交流し、グローバル化に対応した国際人を育成します。	指導課	令和5年度は8月2日(水)に、加須げんきプラザにて実施予定です。43名の児童が参加し、1日かけ英語を使った様々なアクティビティに参加しました。	コロナ禍以前は宿泊を伴って実施していましたが、現在加須げんきプラザの食堂のサービスがなくなっていることから、コロナ禍以前のようなスケジュールに戻すには朝食と夕食をどのようにするか課題となっています。
	15	中学生学力アップ教育推進事業 (8年目)	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和5年度は、市内全体で301名の中学生が参加しており昨年度より8名多くなっています。学校ごとに、年間30回の実施を予定しています。	国と県の中学生学力アップ教室事業費補助金が毎年減額されており、コーディネーター及び指導員の配置人数を減らしながら対応しています。生徒一人ひとりに細やかな支援をするためにも、各校毎回4名以上指導員を配置できるようにする必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
	16	くき検定 (6年目)	これからの久喜市を担う小・中学生に、久喜市の歴史や文化、自然環境等に興味をもつきっかけづくりのために実施します。	指導課	令和5年度は12月2日(土)に実施を予定しています。検定の問題については、市内教職員が務める編集委員と9月下旬に調整のうえ作成予定です。	令和4年度以前までと同様に、アフターコロナの中で集合型のよさを生かしつつ、ICT活用を効果的に取り入れた運営方法を検討していく必要があります。予選・決勝ともに、久喜市への関心が幅広く高まるようなものとなるように内容の検討を継続していく必要があります。
	17	GoogleジュニアICTリーダー育成講座 (2年目)	Googleスライドを活用したプレゼンテーションの仕方について学ぶ機会を提供します。	指導課	令和5年度は7月23日(日)に実施し、小学生32名、中学生18名、合計50名が参加しました。当日はGoogle認定トレーナー講師の指導のもと、参加者はプレゼンテーションのコツやプレゼンテーション資料作成のポイント及びインターネットリテラシーについて学び、各校のジュニアICTリーダーとして認定を受けました。	2学期には第3回目を実施予定です。今後、ジュニアICTリーダー育成を通じた久喜市の魅力を発信する為の講座やGoogleサイトを活用した市の魅力発信に資するものとなるよう、内容の検討を継続していく必要があります。
	18	放課後子ども教室 (ゆうゆうプラザ) (19年目)	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和5年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加予定児童数は:2,989人 ・開設講座数:402講座 ・実施委員人数:389人 ・サポーター数:1,905人 ・児童参加率:49.6%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
	19	子ども大学くき (12年目)	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度は、定員を60名とし、次のとおり実施予定です。 ・1日目 日程:8月27日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「ダンスワークショップ～からだで遊ぼう～」 ・2日目 日程:9月10日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「ウクライナってどんな国?」「われらHIU(エイチ アイ ユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月24日(日) 会場:鷺宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「避難所生活を体験しよう!!」 ・4日目 日程:10月1日(日) 会場:鷺宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「おはしチャレンジ」「修了式」	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。
	20	青少年教育の充実 (2年目)	生涯学習施設を活用した青少年教育について検討し、充実します。	生涯学習課	当該年度に二十歳を迎える方で構成される「二十歳の成人式実行委員会」を生涯学習施設で実施する予定です。	今後、さらに幅広く青少年教育に関する学びの提供を検討していく必要があります。
	21	子ども歴史広場 (22年目)	子どもたちが行事や昔の遊びに接する機会を提供します。	郷土資料館	令和5年度は、以下のとおり開催予定です。 ① 令和5年7月26日(水) 懐かしいおもちゃと飾りづくり ※令和5年7月31日現在、実施済み(参加人数:30人) ② 令和5年8月2日(水) 昔の道具体験 ③ 令和5年8月23日(水) 勾玉づくり	より多くの子どもたちに興味をもって参加してもらえるよう、郷土資料館ボランティアと調整しながら、開催日や開催内容を検討していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 1 学ぶ～様々な学びの提供～ 施策 1 ライフステージに応じた学びの充実						
成人期における学びの充実	22	発達障がい児等総合支援事業 (5年目)	発達障がいのある子を育てている保護者同士が集うペアレントメンター事業や発達障がいを考える講演会を開催します。	障がい者福祉課	発達障がい児の保護者や支援者等が発達障がいの特性を理解し、必要な知識や適切な対応を考える機会及び保護者間の交流の場を提供します。 ・発達障がいを考える講演会 令和5年5月20日(土)実施 37名参加 ・ペアレントメンター事業 令和5年10月13日(金)、20日(金)、25日(水)実施予定	ひとりでも多くの方に発達障がいを知っていただくため、事業を積極的に周知していく必要があります。
	23	二十歳の成人式事業 (年数不明)	二十歳の門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を支援します。	生涯学習課	令和5年度は令和6年1月7日(日)に、4地区3会場を実施予定です。会場は、久喜地区と鷲宮地区は久喜総合文化会館、菖蒲地区は菖蒲文化会館(アミーゴ)、栗橋地区は栗橋文化会館(イリス)で実施予定です。	対象者数の減少などもあり、1つの会場で合同開催をするなど、開催方法の検討が必要な状況であります。
	24	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院 (29年目)	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和5年度は4月15日(土)に入学式・始業式を実施しました。令和5年7月31日現在、学生数は1年生11名、2年生10名、大学院生5名となります。 1年生30講座、2年生20講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおりの進捗状況です。 学生の講座への出席率は1年生89.5%、2年生82%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。
	25	子育て講座 (年数不明)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施予定です。9月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で勉強会を開催予定です。	埼玉県家庭教育アドバイザーの人材不足が課題です。
	26	家庭教育学級 (年数不明)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、保育園から中学校まで合わせて、22の団体で実施する予定です。各団体で、子の年齢に合わせた家庭教育学級が計画されています。	補助金申請の手続きを明快に説明する必要があります。
	27	埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーの活用 ※新規 (1年目)	久喜市在住の埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーに協力いただき、保護者向けに、子育てやインターネットトラブルに関する悩み等の学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度中に、埼玉県家庭教育アドバイザーの協力を得て、「久喜市家庭教育支援チーム」の設置に向け、打合せを実施しています。	埼玉県家庭教育アドバイザーの人材不足が課題です。
	28	鷲宮催馬楽神楽伝承教室 (22年目)	鷲宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和5年度は、9月から10月にかけて全10回で開催予定です。第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールにて神楽の練習を行い、第10回は鷲宮文化祭でその練習成果を発表します。	国指定重要無形民俗文化財鷲宮催馬楽神楽の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていく必要があります。
	29	古文書学習会 (22年目)	郷土に関する古文書の解説を通じて、郷土の歴史を再認識する学習会を開催します。	郷土資料館	令和5年度は、6月から12月にかけて全11回で開催予定です。主に江戸時代の古文書(館蔵資料)をテキストとして実施します。 令和5年7月31日現在、以下のとおり実施しています。 5月19日、6月2日、6月16日、7月7日、7月21日 参加者数:120人(延べ人数)	古文書を学ぶ機会をより多くの方に提供するため、講師と調整しながら、古文書の習熟度に応じた学習内容を検討していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
高齢期における学びの充実	30	高齢者の職業能力開発と活動支援 (年数不明)	シルバー人材センターとの連携により、職業能力開発による高齢者の就業援助と、高齢者の地域活動への参画支援をします。	久喜ブランド推進課	久喜市シルバー人材センターに加入している高齢者の就業が図られるように取り組みました。	久喜市シルバー人材センターへ発注される業務は、除草や清掃等であり、体力的な理由等により、就業につながらないケースが発生しています。
	31	はつらつ運動教室 (17年目)	高齢者の心身機能の維持向上を図るため、運動の機会を提供します。	高齢者福祉課	はつらつ運動教室は、高齢者の心身機能の維持向上や要介護状態への進行の予防を目的に、はつらつリーダーにより運営しています。令和5年度は、37会場ではつらつ運動教室を実施し、高齢者の健康の保持増進を図ることができました。	はつらつ運動教室を継続していくため、はつらつリーダーを計画的に養成し、確保していく必要があります。
	32	高齢者のためのいきいきクッキング (14年目)	介護予防のための栄養改善に関する食べ方や調理法の修得を目指します。	高齢者福祉課	令和5年度は、9月20日(水)に久喜東コミュニティセンターで実施予定です。調理や片付けが簡単で、フレイル予防にもなる高齢者におすすめの食事を紹介します。	フレイル予防として、高齢期以前からの健康づくりに取り組む必要があるため、開催内容を検討する必要があります。
	33	アクティブシニア応援サイトの充実 (年数不明)	久喜市ホームページ内に、シニアの方に向けて役立つ情報をお届けします。	高齢者福祉課	いきいきデイサービス、久喜市はつらつ運動教室についてホームページに掲載し、サイトを通じて、アクティブシニアの皆様役に役立つ情報を提供しています。	ボランティア募集の情報は、ケアプロnaviにも掲載をしているため、周知方法を検討する必要があります。
	34	高齢者大学 (スマイルキャンパス) (45年目)	実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを充実させるための講座を充実します。	生涯学習課	令和5年度は4月12日(水)に入学式・始業式を実施しました。令和5年7月31日現在、学生数は1年生48名、2年生40名、3年生28名、4年生44名となります。講座や学校行事は予定どおりの進捗状況です。学生の講座への出席率は、1年生85.1%、2年生85.1%、3年生85.3%、4年生85.4%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。また、多くの学生が生涯学習施設「まなびすポット」を使用しております。	学生の負担を考慮し、学校行事の実施数を検討していく必要があります。入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援				
人権を尊重した教育の推進	35	人権啓発事業「人権のつどい」 (久喜地区:34年目、菖蒲地区:42年目、栗橋地区:24年目、鷲宮地区:31年目)	様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、市内4地区で人権啓発事業を開催します。	人権推進課 各総合支所総務管理課 生涯学習課	【人権推進課】 令和5年度は、令和5年9月9日(土)に久喜地区「平和と人権のつどい」を久喜総合文化会館で、令和5年10月28日(土)に栗橋地区「人権フェスタINくりはし」を栗橋文化会館(イリス)で、令和5年11月18日(土)に菖蒲地区「人権のつどい・少年の主張大会」を菖蒲文化会館(アミーゴ)で、令和5年12月9日(土)に鷲宮地区「人権のつどい」を鷲宮西コミュニティセンター(おおとり)で開催する予定です。	【人権推進課】 平成22年3月の合併以降、久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮の4地区それぞれで人権のつどいを実施し、各地区の人権のつどいでは、毎年、他地区から舞台発表の出演や人権作文の発表について招待し、地域間の交流を深めてきたところであります。合併後、既に10年以上が経過し、地域間における交流も十分に深まったことから、その実施のあり方について再度検討していく必要があります。
	36	広報啓発活動や講演会 (年数不明)	広報紙に「人権それは愛」の掲載や、啓発物品の配布、人権啓発講演会を開催します。	人権推進課 各総合支所総務管理課 生涯学習課	【人権推進課】 広報くきにおいて、毎月「人権それは愛」を掲載。人権を考えるつどいや街頭啓発などの人権啓発事業において、啓発品の配付を行う予定です。	【人権推進課】 啓発品の配付について、人権啓発事業以外においても、各種市内のイベント等で配付できるよう、各課と協力を図っていく必要があります。
	37	社会を明るくする運動 (年数不明)	犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築こうとする法務省提唱の運動を推進します。	社会福祉課	令和5年度は7月24日(月)に講演会及び街頭啓発を実施しました。講演会の参加者は121名でした。街頭啓発は、久喜駅及びびとーヨーカードー久喜店にてパンフレットと啓発品を配布し、周知を図りました。また、7月の強化月間中は、久喜駅東口及び西口に横断幕を設置、市庁舎へ懸垂幕を掲出しました。	社会を明るくする運動があまり知られていないため、更に周知をする必要があります。
	38	人権教育推進事業(しょうぶ会館でのふれあい教室等) (14年目)	学習活動をととして、支えあう仲間づくりを進め、好ましい人間関係を育てるとともに、人と人の交流の中で人権意識の高揚を図ります。	しょうぶ会館 生涯学習課	【生涯学習課】 学習会の他、工作や料理など様々な教室を実施しており、令和4年度に比べ、開催する教室等への参加者が増えてきています。	【生涯学習課】 全体的には参加者が増えているものの、学習会への参加者が少ないため、参加を増やすための検討が必要です。
	39	PTA人権教育研修会 (14年目)	様々な人権問題を解消し、差別のない明るい地域社会を実現するための研修会等を充実します。	生涯学習課	PTA人権教育研修会の第1回開催結果及び第2回以降の開催予定は、次のとおりです。 第1回 日時:6月27日(火) [実施] 会場:菖蒲文化会館 講師:宮崎 成悟 テーマ:ヤングケアラー当事者の人生から考える支援の方法 参加者数:86人 第2回 日時:8月17日(木) [予定] 会場:久喜総合文化会館 講師:大賀 一樹 第3回 日時:11月13日(月) [予定] 会場:栗橋文化会館 講師:大胡田 誠 第4回 日時:令和6年1月16日(火) [予定] 会場:鷲宮総合支所会議室 講師:阿部 真紀	主にPTAを対象とした研修会であることから、様々な人権問題のうち、特にPTAの方にとって関心の高い人権問題・課題を選定し、人権意識の向上や人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう、継続して実施していく必要があります。
	40	社会人権教育指導者養成講座 (14年目)	企業・事業者を対象に人権教育指導者の養成につながる講座を実施します。	生涯学習課	令和6年1月31日(水)に開催する予定です。	企業・事業者等から参加していただいた多くの方に、差別意識の解消や人権問題に対する正しい理解と認識を深めるとともに、企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるよう、毎年継続して実施していく必要があります。
	41	教育集会所事業 (14年目) ※交流事業については、11年目	地域住民の人権感覚・人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ります。	生涯学習課	多くの人が参加する事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できてはおりませんが、通常の各種教室・講座等については実施できております。	新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの参加者が集まるような事業は実施はできておりません。
	42	久喜市の社会人権教育、人権啓発冊子発行 (14年目)	冊子を発行することにより、人権感覚・人権意識の高揚に努めます。	生涯学習課	令和5年度事業の事業内容を掲載するため、令和5年度末に冊子を発行する予定です。	教育集会所の各種教室・講座等の参加者や小・中学校へ冊子を配布し、人権意識の高揚を図っておりますが、さらに冊子の効果的な活用方法について、検討していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援				
具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
障がい者の学びの推進	43	フレンドシップ学級事業 (23年目)	交流会、創作活動、レクリエーション等の事業を実施します。	障がい者福祉課	8月27日に令和5年度の総会を開催し、今年度を実施したい活動を決定しました。今後は、月に一度の活動を予定しております。	参加者が高齢化しているため、新規参加希望者を募り、事業の活性化が必要です。
	44	障がい者パソコン講座 (20年目)	視覚障がい者・上肢機能障がい者を対象とした、パソコンを使ったの基本的な技能を習得します。	障がい者福祉課	広報くき9月号にて受講者募集を行い、10月から11月にかけて講座を実施する予定です。	参加者が減少傾向にあることから、事業内容等の見直しについて検討を行う必要があります。
	45	生活支援及び障がいに応じた作業支援 (15年目)	在宅の障がい者に、必要な自立訓練、創作・生産活動、社会との交流促進の場を提供します。	障がい者福祉課	日々の活動を通して、自立訓練や社会との交流の経験を積み、利用者の状況に応じて活動参加を促すことで、意欲の向上に繋がっています。	施設・設備の老朽化に伴い、代替施設の検討をしていく必要があります。
	46	地域福祉推進のためのワークショップ (年数不明)	地域福祉推進のためのワークショップを実施します。	久喜市社会福祉協議会	令和5年度の実施予定はありません。	久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画の見直しや策定にあわせて実施を検討していきます。
	47	ふれあいスポレク・フェスタ (14年目)	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時:令和5年9月16日(土) 予定 会場:毎日興業アリーナ 久喜 サブアリーナ 概要:障がい者の方も楽しめるポッチャをはじめとする様々なスポーツ・レクリエーション種目を用意し、体験機会を作ります。	例年、参加者が伸び悩んでいる状況であるため、参加対象者を広く募集することや、障がい者スポーツ種目を検討していく必要があります。
性別や国籍を問わない学びの推進	48	男(ひと)と女(ひと)のつどい (20年目)	男女共同参画の推進を図るため、市民団体と協働で啓発イベントを開催します。	人権推進課	女(ひと)と男(ひと)いきいきネットワーク久喜との共催により、令和5年6月24日(土)に久喜中央コミュニティセンターで実施し、307名が参加しました。 男女共同参画意識を育むような講演会、市民団体等の活動紹介・作品展示等を実施し、男女共同参画の推進を図りました。	アンケートなどで「事業名が現在の社会情勢にそぐわず、誤解を招く」という意見が出ているため、事業名の変更を共催団体と検討していく必要があります。
	49	いきいき女性議会 (12回目【隔年開催】)	行政や議会に対する女性の参画意識を高めるため、女性の意見や要望等を市政に反映させる機会として女性議会を開催します。	人権推進課	女(ひと)と男(ひと)いきいきネットワーク久喜との共催、久喜市議会の後援により、令和5年10月30日(月)に本庁舎5階市議会議場で開催する予定です。	答弁書の作成及び答弁調整といった準備の負担が大きいことが課題となっております。全体的な効率化を図る必要があります。
	50	男女共同参画1日体験学習ツアー (14年目)	男女共同参画に関する理解や認識を深められるよう、市民を対象とした体験学習や施設見学を実施します。	人権推進課	令和5年6月29日(木)に25名が参加し、三芳町にある三富今昔村とさいたま市にあるWithYouさいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)を訪れました。 三富今昔村では施設見学、WithYouさいたまでは、職員による「男女共同参画基礎講座」を受講していただき、参加者の男女共同参画に関する理解や認識を深めました。	当事業は、6月の「男女共同参画推進月間」事業の一環として実施しており、6月の天候を考慮した見学場所を検討する必要があります。
	51	外国籍市民のための日本語教室 (22年目)	15歳以上の外国籍市民の方を対象に、日本語力の基礎を身に付ける教室(初級)と、仕事に関する場面での日本語を学ぶ教室(中級)を開催します。	市民生活課	令和5年9月16日から12月9日までの各土曜日(11月18日を除く全12回)、久喜中央コミュニティセンターにて日本語教室を開催します。受講者の日本語レベルによって初級と中級(各15名程度)に分ける予定です。受講者は、広報くき8月号等にて募集します。	市内在住の外国籍市民は年々増加しているため、コースの種類及び募集人数等について見直しを図り、需要に合わせて開催する必要があります。
	52	久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック (2年目)	久喜市で生活するために必要なことがやさしい日本語と英語で書いてあるガイドブックを配布します。	市民生活課	令和4年3月、外国籍市民の暮らしに必要な情報をまとめた、「久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック(やさしい日本語版・英語版)」を発行し、市ホームページで公開するとともに、転入する外国籍市民の方にQRコードを記載した案内チラシを配布して周知しています。	ページ数が多いため、多人数に紙面で配布することが難しいのが課題です。 また、「情報量が多すぎる」、「要点をまとめたものがあると便利」等の声もいただくため、内容の見直しをする必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実				
「地域を知る」学びの推進	53	本多静六記念館 (10年目)	本多静六博士の直筆の資料や遺品等の貴重な資料、博士が手がけた全国各地の公園や観光地のポスターを常設展示します。	菖蒲総合支所総務管理課 文化財保護課	【文化財保護課】 令和5年度は、7月31日(月)に本多静六記念館で教職員初任者研修を実施しました。これにより、市民の方々に本多静六博士の事績を学んでいただくことができました。	【文化財保護課】 本多静六博士の事績を子どもたち等に分かりやすく学んでいただくため、小学校等からの要請に基づき、同館における学芸員による解説を引き続き実施していく必要があります。
	54	市民大学公開講座 (年数不明)	久喜市の歴史や自然環境に特化した公開講座を実施します。	生涯学習課	令和5年7月31日現在、生涯学習施設まなびすポットを利用し、次のとおり実施しました。 ・4月22日(土)「鷲宮神社と催馬楽神楽」 11名参加 ・5月20日(土)「歴史探訪『地域史に親しむ』」 11名参加 ・6月17日(土)「久喜の自然と風土」 9名参加 ・7月1日(土)「久喜の教育の源流を知る①『遷善館と幸魂教舎』」 11名参加 ・7月15日(土)「久喜の教育の源流を知る②『明倫館・久喜高女』」 19名参加 ・7月22日(土)「本多静六博士と渋沢栄一」 9名参加	市民大学の学生数の増加につなげていくため、ホームページ、広報くき等での周知を図り、参加者を増やしていく必要があります。
	55	コミュニティセンターまつり (年数不明)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により実施します。	生涯学習課	令和5年度は各地区文化祭を、コミュニティセンター(旧公民館)ごとに、次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区:11/17-11/19(久喜中央コミュニティセンター) ●江面地区:11/11-11/12(農村センター) ●久喜東地区:2/17-2/18(久喜東コミュニティセンター) ●青葉地区:2/3-2/4(青葉コミュニティセンター) ●清久地区:11/25-11/26(清久コミュニティセンター) ●菖蒲地区:2/17-2/18(森下コミュニティセンター) ●栗橋地区:2/17-2/18(栗橋中央コミュニティセンター) ●鷲宮地区:2/10-2/11(鷲宮中央コミュニティセンター)	各地区文化祭が同時期に集中しているため、開催時期を分散する等調整を図る必要があります。
	56	図書館自主事業の充実 (指定管理者導入5年目)	市民の学習活動・課題解決を支援するために、利用者のニーズを反映した図書館自主事業を提供します。	生涯学習課	図書館4館で、子ども、大人、親子と各世代別に事業を実施し図書館の利用促進を図りました。 「第3回久喜市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、調べ学習での活用を促進する事業を行います。6月に小中学生へ募集チラシを配布しました。	市民の要望に沿った事業を実施し、事業参加者数の増加に努める必要があります。
	57	生涯学習出前講座の充実 (年数不明)	多彩な生涯学習機会を提供し、内容を充実します。	生涯学習課	令和5年7月31日現在、24件の申請がありました。 10人以上の団体・グループに生涯学習機会を提供することができました。	市民向けの公開出前講座をととして、出前講座の周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。
	58	久喜歴史だより (11年目)	広報くきに毎月テーマを変えて「久喜歴史だより」を掲載します。	文化財保護課 郷土資料館	令和5年度は、以下の記事を掲載しました。また、7月号までについては、ホームページにも記事をアップし、検索されやすくしました。 ・4月号「第137回 久喜市に残る中村不折の足跡」 ・5月号「第138回 久喜ブランドの元祖くきのめぐり」 ・6月号「第139回 栗橋の八坂神社に伝わる彫刻奉納額」 ・7月号「第140回 栗橋の八坂神社に伝わる狂歌奉納額」	文化財保護課及び同課職員が保有している情報の中から、本市の歴史を市民にわかりやすく紹介していくとともに、新たな歴史の掘り起こしにも日々努めていく必要があります。
	59	特別展・企画展の実施 (25年目)	郷土資料館においてテーマを設けた展示を実施し、郷土の歴史と文化を再発見する機会を提供します。	郷土資料館	令和5年度は、常設展示室における常設展示のほか、展示室2や展示ホールを活用した「新収蔵品展」(令和5年6月24日(土)～9月10日(日))を開催しました。 来館者数:940人(令和5年7月31日時点)	更なる郷土学習の向上のため、展示室や展示ホールを活用しながら、より多くの館蔵資料等を今後も積極的に公開していく必要があります。
	60	鷲宮催馬楽神楽伝承教室 ※再掲(連番No.28) (22年目)	鷲宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和5年度は、9月から10月にかけて全10回で開催予定です。 第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールにて神楽の練習を行い、第10回は鷲宮文化祭でその練習成果を発表します。	国指定重要無形民俗文化財鷲宮催馬楽神楽の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実				
「命を守る」学びの推進	61	交通安全の街頭啓発活動 (年数不明)	交通安全意識の高揚のために普及啓発活動を実施します。	交通企画課	令和5年春の全国交通安全運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:5月12日 イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:5月7日 フォレオ菖蒲 ・栗橋地区:5月18日 マミーマート栗橋店 ・鷲宮地区:5月18日 アリオ鷲宮 令和5年夏の交通事故防止運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:7月24日 イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:7月21日 モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:7月18日 栗橋駅周辺 ・鷲宮地区:7月20日 アリオ鷲宮	街頭啓発を実施する場所が、特定の商業施設に偏ってしまうことが課題として挙げられます。
	62	総合防災訓練 (年数不明)	災害時、防災活動に対する意識の高揚、啓発を行います。	消防防災課	令和5年度は令和5年9月2日(土)に、4地区5会場で実施予定です。会場は毎日興業アリーナ久喜、久喜地区は江面小学校、菖蒲地区は三箇小学校、栗橋地区は栗橋北彩高校、鷲宮地区は上内小学校で実施予定です。	組織を超えた防災対策を推進していくために、多様な主体が参加、連携した訓練を実施する必要があります。
	63	普通救命講習 (11年目)	心肺蘇生法やAEDの使用方法に関する講習を実施します。	埼玉東部消防組合	埼玉東部消防組合普通救命講習を実施しました。 (久喜市内で実施した回数、参加人員) ・普通救命講習Ⅰ(主に成人が対象) 19回 199人 ・普通救命講習(WEBⅠ) 1回 9人 ・普通救命講習Ⅲ(主に小児・乳児・新生児が対象) 6回 61人	受講者の増加に伴い講習会の定数を増やす必要があります。
「環境問題」に関する学びの推進	64	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動 (年数不明)	環境意識の高揚と地域の環境美化意識の促進に努めます。	環境課	令和5年度は、5月20日(土)から6月4日(日)までをゴミゼロ週間と位置づけ実施しました。市全体で19,828名が参加しました。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策期間以前より参加人数が減少しており、市民にどのように参加を促していくかが課題です。
	65	廃食油リサイクル学習会 (年数不明)	リサイクル促進事業の一つとして、親子で参加できるせっけん作りの学習会を実施します。	環境課	令和5年度は7月30日(日)に、しみん農園久喜(緑風館)で実施しました。大人9名、子ども10名の合計19名が参加しました。	環境に関する学びの場であることと、参加者の興味を引く楽しいイベントであることが両立する内容にしていくことが課題です。
	66	ノーカーデー (年数不明)	環境への影響を配慮し、自家用車の使用をできるだけ自粛するノーカーデーを推進します。	環境課	市としてノーカーデーに取り組むとともに、市内企業や市民団体などで構成される久喜市環境推進協議会の活動において重点取組事項として掲げ、それぞれの役割の中で実施しています。	車での移動が必須となる方など、ノーカーデーに取り組めない方への理解などが課題です。
	67	環境学習会 (年数不明)	地球環境問題に関する学習会を開催します。	環境課	令和5年度は12月下旬に実施を予定しています。企業の環境問題への取組みを学習題材とし、工場見学をオンライン(Zoom)で行う予定です。	「環境問題」を題材とした工場見学となることから、受け入れ側企業と市側が要望する題材とのミスマッチが起きないようにすることが課題です。
デジタル社会に対応した学びの推進	68	共同オンライン分教室(KDX教室) (2年目)	学校に登校することが難しい中学生を対象に、オンライン上の仮想教室で同時双方向型の学習支援を行います。	指導課	令和5年度は、昨年度から継続の5名と今年度から利用を開始した2名の合わせて7名に対し、オンライン上の仮想教室で学習支援を行っています。	子どもたちが継続して利用するための工夫や、学習支援だけでなくどまらず学校復帰を含めた社会的自立に向けた支援を行っていく必要があります。
	69	パソコン講習会 (年数不明)	パソコンを使って基本的な技能の習得を目指す講習会を開催します。	生涯学習課	過去にパソコン講習会を実施していましたが、参加人数や要望が少なく、また、スマホ講座への要望が多かったため、スマホ講座へシフトしております。	市民から要望があった場合、それに応じて、開催について検討していく必要があります。
	70	スマホ講座 (年数不明)	スマートフォンを使ってみたい、または使うことに不安がある方を対象に講座を開催します。	生涯学習課	スマホ講座につきましては、初級講座を3地区で実施し、77人が参加しました。(久喜中央地区14人、菖蒲地区5人、鷲宮地区58人)さらに今年度中に3地区(久喜東地区・清久地区・栗橋地区)で実施予定です。	各種手続きのデジタル化に伴い、市民(特に高齢者)からの要望が高い講座のため、未実施の地区につきましても実施する予定です。
	71	インターネットによる学習機会の提供 (3年目)	インターネットを利用した学習や広域的な学習機会の選択等、双方向性の学習機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度は、11月12日(日)実施予定の吹奏楽フェスティバルで、ライブ配信を行う予定です。	久喜市市民大学・高齢者大学といった事業を中心に、市民の意見を取り入れ、必要に応じてインターネットやオンラインでの講義を検討していく必要があります。
	72	学習情報の提供 (年数不明)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行いました。加えて、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行いました。	「久喜市市民大学公開講座」、「久喜市高齢者大学オープン高大」やその他事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)の積極的な活用をしていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 1 学ぶ～様々な学びの提供～
 施策 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
「健康」に関する学びの推進	73	農業体験、料理教室等の開催 (25年目)	農業や農村への理解を促します。	農業振興課	令和5年度はしみん農園久喜の区画を活用して、久喜地区の市立保育園、市立幼稚園、小学校、児童センター、子育て支援センター等の児童を対象とした、さつまいも掘り体験を予定しております。 また、市内在住・在学・在勤の方を対象に全9回の菜園教室を実施しております。 菜園教室は、令和5年7月31日現在、次のとおり実施しております。 第1回:5月11日(木)実施「トマト、インゲン、ナス、スイカの定植 等」 第2回:5月25日(木)実施「落花生、サツマイモの定植 等」 第3回:6月15日(木)実施「ナス、トマトの誘引作業 等」 第4回:7月20日(木)実施「スイカの収穫 等」	菜園教室は、受講者が固定化しないよう、周知方法を検討し、新規の受講者を取り入れていく必要があります。
	74	健康づくり・食育推進大会 (11年目)	健康や食育の意識を高めるとともに、健康づくりや食育に取り組む協働のまちづくりを推進します。	健康医療課	令和5年度は令和5年10月14日(土)に久喜総合文化会館で開催予定です。 小ホールでは、健康づくり・食育ポスター授賞式をはじめ、講演や団体、小・中学校による健康づくりや食育の取り組みに関する発表を行う予定です。 サイエンスホールでは、ポスター入賞作品の展示や、庁内関係課及び小・中学校が作成した健康づくり・食育に関する取り組みのパネル展示の他、関係機関による各種健康測定を実施する予定です。	健康づくり・食育推進大会は第2次健康増進・食育推進計画に基づき開催していますが、計画期間は令和5年度までとなり、今回をもって終了となります。 令和6年度以降、市民が健康づくりや食育への意識向上と実践に繋がる取り組みを検討する必要があります。
	75	健康づくり、食育推進に関する啓発事業 (年数不明)	広報くきやホームページ等における健康づくり、食育推進に関する知識や情報を提供します。	健康医療課 中央保健センター	【健康医療課】 6月の食育月間に合わせ、広報6月号へ郷土料理の紹介を通じて食育に関する特集記事を掲載しました。記事掲載ページには、令和4年度に作成した食育動画のQRコードを表示し、改めて市民へ食育の重要性を周知するとともに、日頃からの実践を働きかけました。 こころの健康に関して、7月に夏休みを控えた子どものメンタルヘルスに関する情報や、家族や周囲の大人に向けてこどものメンタルヘルスケアの方法をホームページに掲載しました。 令和5年8月には、包括連携協定を活用し、市内セブンイレブン30店舗へ野菜摂取POPの掲示により、市民へ国が示す1日の目標野菜摂取量の周知と摂取促進を図る予定です。 運動に関するチラシを作成・配布し、健康づくりのための情報提供をしています。	【健康医療課】 健康づくりや食育推進に関する情報が広く市民へ周知され、市民の意識向上と実践に繋がる効果的な手法を検討する必要があります。 様々なイベント等でチラシを配布する等周知に努めます。
	76	こころの健康講座 (年数不明)	こころの健康に関する知識の普及・啓発に努めます。	中央保健センター	次のとおり、こころの健康講座を実施し、ひきこもりについての知識の普及や情報提供を行うことができました。 7月29日「ひきこもりに対してできること～Part1～」聴講者22人	市民のこころの健康維持・増進や普及・啓発につながるよう、取り扱うテーマや参加者の増加に向けた周知方法について検討する必要があります。
	77	食生活改善事業 (年数不明)	食生活の改善に関する知識の普及、情報提供に努めます。	中央保健センター	令和5年7月31日現在、次のとおり実施しました。 5月24日 骨の健康チェック 98名参加 7月26日 親子料理教室 12組28名参加 食生活の改善に関する知識の普及、情報提供ができました。	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、食生活の改善につながる知識の普及・啓発に務める必要があります。
	78	健康づくり事業 (年数不明)	健康に関する必要な知識の普及、情報提供に努めます。	中央保健センター	医師や栄養士を講師とした生活習慣病予防講座を実施する予定です。 医師を講師とする講座 1回 (日時未定) 栄養士を講師とする講座 2回 (11月7日、11月16日予定)	多くの方に参加していただき、幅広い年代の方に健康に関する知識の普及、情報提供をするために周知方法を検討する必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
「スポーツ・レクリエーション活動」の推進		79	よろこびのまち久喜マラソン大会 (9年目)	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和6年3月24日(日) 予定 会場: 総合運動公園スタート・ゴール 種目: ハーフ、3km、1.5km	前回大会が雨天による開催であったため、ゴール付近のグラウンド状態が悪く、ゴール位置の変更や出店ブースの配置等の検討要望が挙げられたことから、それらの要望等の改善に向けて検討する必要があります。
		80	くき健康ウォーク (9年目)	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和5年10月15日(日) 予定 コース: 久喜市内 内容: 地図をもとに、ウォーキングをしながらチェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指します。	毎年、地区を変えてウォーキングコースを設定していたが、参加者が定員に達しない状況であったことから、より多くの参加をいただけるよう内容を検討していく必要があります。
		81	スポーツ体験イベント (2年目)	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	期日・会場: 未定 内容: ポッチャなど様々なスポーツを通じて体験しながら、参加者等との交流を図ります。	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。
		82	スポーツ情報の発信 (4年目)	スポーツ体験イベントやスポーツ団体、個人の活動等、スポーツ情報を発信します。	スポーツ振興課	期日: 通年 内容: 市ホームページやSNS、広報紙等にスポーツ関係団体の活動やイベント情報を掲載します。	今後も企業やプロスポーツチーム、スポーツ団体等と連携しながら市民に向けて、様々なイベント情報や団体活動を発信していく必要があります。
		83	ふれあいスポレク・フェスタ ※再掲(連番No.47) (14年目)	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和5年9月16日(土) 予定 会場: 毎日興業アリーナ 久喜 サブアリーナ 概要: 障がい者の方も楽しめるポッチャをはじめとする様々なスポーツ・レクリエーション種目を用意し、体験機会を作ります。	例年、参加者が伸び悩んでいる状況であるため、参加対象者を広く募集することや、障がい者スポーツ種目を検討していく必要があります。
		84	各地区市民体育祭 (年数不明)	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和5年度は次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区: 11/3(久喜小学校) ●江面地区: 9/24(江面小学校) ●久喜東地区: 10/1(久喜東小学校) ●青葉地区: 10/22(青葉小学校) ●清久地区: 10/14(清久小学校) ●菖蒲地区: 10/22(菖蒲中学校) ●栗橋地区: 10/1(南栗橋スポーツ広場) ●鷺宮地区: 10/8(鷺宮運動広場)	開催に向けた協議にあたり、開催時間や競技の見直し等、参加者及び運営側の安全を確保し、安心して体育祭を実施できる方法を検討する必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～
 施策 1 人材の育成・活用

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
人材の育成	85	市民後見人養成講座 (障がい福祉課:10年目) (高齢者福祉課:9年目)	地域に暮らす同じ市民の立場で寄り添う「市民後見人」を養成します。	障がい者福祉課 高齢者福祉課	【障がい者福祉課】 令和5年度は、令和4年度に市民後見人養成講座基礎編を修了した方を対象に、10月から全6回で市民後見人養成講座実践編を開催予定です。 【高齢者福祉課】 令和5年10月～11月に市民後見人養成講座を実施予定です。	【障がい者福祉課】 令和5年度は、令和4年度に市民後見人養成講座基礎編を修了した方を対象に、10月から全6回で市民後見人養成講座実践編を開催予定です。 【高齢者福祉課】 ご本人の権利擁護支援を進めていくため、引き続き、市民の目線で見守りながら支援ができる市民後見人を養成していく必要があります。また、講座修了後、後見実務にあたるまでの体制を整えていく必要があります。
	86	認知症サポーター養成講座 (13年目)	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る応援者を養成する講座を実施します。	高齢者福祉課	4月より認知症サポーター養成講座を開催し、久喜市内菖蒲地区、栗橋地区の講座およびいきが大学高齢者等が終了しました。88名がサポーターとなりました。今後久喜地区、鷲宮地区で開催予定です。サロンや小学校での講座もあり、こちらは74名がサポーターになりました。	認知症サポーター養成講座を継続的に実施するため、講師となるキャラバンメイトを養成する必要があります。また全世代に向けて講座を実施していくためには、認知症地域支援推進員とのさらなる協力体制が必要となります。
	87	はつらつ運動教室リーダー養成講座 (17年目)	介護予防運動教室の指導者を養成します。	高齢者福祉課	9月下旬から、はつらつリーダー養成講座を実施予定です。初級研修の実施予定の日程は、以下の通りです。 日程(毎金曜):第1回9月29日、第2回10月6日、第3回10月13日、第4回10月20日、第5回10月27日、第6回11月10日、第7回11月17日	はつらつ運動教室を継続するためには、はつらつリーダーを計画的に養成し、確保していく必要があります。事業の周知方法を検討する必要があります。
	88	各種ボランティア養成講座や講習会 (年数不明)	地域ボランティアの養成、ボランティア団体の活動助成、地域福祉の振興に努めます。	久喜市社会福祉協議会	共生支援事業「障がいを知り、災害時に支えあえる地域づくり」を64名の参加者と共に5月13日(土)に実施しました。また、ガイドヘルプボランティア養成講座を6月2日、9日、16日の各金曜日に実施し、3名終了しました。そのほか、現在音訳ボランティア養成講座、点訳ボランティア養成講座を実施しています。	ガイドヘルプボランティア養成講座、点訳ボランティア養成講座は、受講者が定員(各20名)に満たなかったため、期間や内容の検討を図っています。
	89	スポーツ・レクリエーション指導者の養成 (14年目)	スポーツ・レクリエーション活動への参加機会を充実させるために指導者を養成します。	スポーツ振興課	国や県等が開催する講習会等へスポーツ推進委員を派遣します。 関東スポーツ推進委員研究大会実施(2023.6.9-10 群馬県) 全国スポーツ推進委員研究協議会実施予定(2023.11.16-17 青森県) 他	国や県、埼玉地区等における指導者研修会等にスポーツ推進委員を派遣し、指導者としての技能習得や資質の向上を図ります。
	90	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院 ※再掲(連番No.24) (29年目)	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和5年度は4月15日(土)に入学式・始業式を実施しました。令和5年7月31日現在、学生数は1年生11名、2年生10名、大学院生5名となります。 1年生30講座、2年生20講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおりの進捗状況です。 学生の講座への出席率は1年生89.5%、2年生82%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。
	91	人材の発掘と登録 (年数不明)	多様な学習活動を支援できる貴重な体験や優れた技能、豊かな知識の持ち主を発掘します。	生涯学習課	令和5年度より、生涯学習人材バンクに登録されている方の中から講師を選定し、月1回、市民向けの講座を実施しています。令和5年7月31日現在、4回の公開講座を実施しており、今後も多様な生涯学習活動を支援できる人材を発掘していきます。	発掘していく人材が偏った分野にならないよう配慮する必要があります。
	92	生涯学習ボランティアの育成と活用 (年数不明)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をとおりて幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、今後、コミュニティセンターのまつりや、市民芸術祭といった事業に運営ボランティアとして参加する予定です。 久喜市市民大学では、今後、市民まつりやコスモフェスタといった事業に運営ボランティアとして参加する予定です。	久喜市市民大学・高齢者大学に限らず、幅広くボランティアの人材を育成していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	2 1	いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 人材の育成・活用				
人材の活用促進	93	男女共同参画人材リストの活用 (年数不明)	男女共同参画人材リストを市民に周知し、登録を呼びかけるとともに、市の事業等における積極的な活用を図ります。	人権推進課	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画人材リストの活用に全庁的に取り組んでいます。 ①市審議会等への女性委員登用促進資料 ②市主催講演会、講座等の講師資料 ③団体、個人への技能などの提供資料 公共施設に人材リストを設置して市民への周知と活用促進を図り、令和3年中活用実績は26件でした。 広報くきや市ホームページなどで人材リストの登録を呼びかけ、令和4年度末時点での登録者数は31人でした。 生涯学習課が所管する「生涯学習人材バンク」との相互利用を図り、市ホームページに相互にリンクを掲載しています。 	令和3年度以降、活用実績が増えており、審議会の女性登用や家庭教育アドバイザー講師、ネットアドバイザー講師、編み物講師などの分野の活用実績があります。 現状では、活用されている分野に偏りがあるため、他の分野も活用されるように周知して行く必要があります。
	94	部活動における地域人材等の活用 ※新規 (1年目)	部活動の地域移行に向けて、地域人材をいかした中学校の部活動を支援していきます。また、地域移行の受け皿となるスポーツクラブ等の支援を行います。	スポーツ振興課 指導課 生涯学習課	<p>【指導課】</p> 令和5年度は部活動指導員として運動部7名、文化部2名を任用し、中学校の部活動の地域連携を図っています。 今後は、一部の部活動について地域クラブ活動を行い、段階的な地域移行を進めていく予定です。	【指導課】 休日の部活動を地域クラブ活動へと移行するにあたり、国の方針が変わってきた経緯もあり、今後どのように進めていくか未知の部分が多いと言えます。 全ての部活動を地域連携・地域クラブへと移行すると、指導者が不足するという課題があります。 また地域クラブ活動へと移行することにより、保護者負担が増加することが懸念され、経済的な支援が必要となってくる可能性があります。
	95	生涯学習人材バンク (年数不明)	生涯学習人材バンクを整備・充実し、多彩な生涯学習機会を提供します。	生涯学習課	令和5年7月31日現在、3件の活用実績がありました。 市内で活動する個人・グループ・団体などの指導者を探している方々へ紹介することができました。	市民向けの公開講座をとおして、人材バンクの周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。
	96	生涯学習人材バンク活用事業 ※新規 (1年目)	生涯学習人材バンクに登録されている方を講師として依頼し、市民向けの講座を生涯学習施設「まなびすポット」で開催します。	生涯学習課	令和5年度より、月1回、生涯学習人材バンクに登録されている方を講師としてお迎えし、市民向けの公開講座を実施しています。 令和5年7月31日現在、次のとおり実施しております。 <ul style="list-style-type: none"> 第1回:4月23日(日)実施「久喜の地下水はなぜ酒造りに適しているのか」 第2回:5月21日(日)実施「親子でスキニップをとりながらヨガを楽しもう」 第3回:6月24日(土)実施「親子で楽しもう『脳トレパズル』体験」 第4回:7月20日(木)実施「世界かんがい施設遺産 見沼大用水路について」 	開催する講座の内容を偏った分野にならないよう配慮する必要があります。 また、公開講座参加者に生涯学習人材バンクを周知し、登録者数を増加させる必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
学習成果の発表と共有	97	市民まつり (37年目)	市民まつりでの学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	久喜ブランド推進課	令和5年度は、「笑顔でつなぐ 市民のまつり」をテーマに、令和5年10月15日(日)に開催予定です。 会場は、久喜駅前西口広場、20M道路、提燈祭り通り(一部)、久喜中央コミュニティセンター前です。	主催の市民まつりの会の後継者不足が懸念されます。
	98	菖蒲産業祭 (40年目)	「菖蒲産業祭」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	久喜ブランド推進課	令和5年度は、令和5年11月3日(金)に開催予定です。 会場は、未定です。	コロナ禍で活動が中断された団体の活動が懸念されます。
	99	わしのみやコスモスフェスタ (年数不明)	「コスモスフェスタ」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	久喜ブランド推進課	令和5年度は、令和5年10月29日(日)に開催予定です。 会場は、久喜市コミュニティ広場、コスモス畑周辺です。	コロナ禍で活動が中断された団体の活動が懸念されます。
	100	健康づくり・食育推進大会 ※再掲(連番No.74) (11年目)	健康や食育の意識を高めるとともに、健康づくりや食育に取り組む協働のまちづくりを推進します。	健康医療課	令和5年度は令和5年10月14日(土)に久喜総合文化会館で開催予定です。 小ホールでは、健康づくり・食育ポスター授賞式をはじめ、講演や団体、小・中学校による健康づくりや食育の取り組みに関する発表を行う予定です。 サイエンスホールでは、ポスター入賞作品の展示や、庁内関係課及び小・中学校が作成した健康づくり・食育に関する取り組みのパネル展示の他、関係機関による各種健康測定を実施する予定です。	健康づくり・食育推進大会は第2次健康増進・食育推進計画に基づき開催していますが、計画期間は令和5年度までとなり、今回をもって終了となります。 令和6年度以降、市民が健康づくりや食育への意識向上と実践に繋がる取り組みを検討する必要があります。
	101	赤花そば栗橋やさしさときめき祭り (年数不明)	「赤花そば栗橋やさしさときめき祭り」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	栗橋総合支所総務管理課	開催日：毎年11月第3日曜日 会場：栗橋文化会館、栗橋B&G海洋センター 趣旨：祭りを通じて、市民相互のふれあいと交流、ふるさと意識の醸成を図り、地域コミュニティの輪をさらに広げる機会とする。 参加者：令和4年度 約5,000人	主催の「赤花そば栗橋やさしさときめき祭り実行委員会」の高齢化が進み、後継者不足が課題です。 また、参加団体でコロナ禍による活動中断後、解散状態になった団体があります。
	102	コミュニティセンターまつり ※再掲(連番No.55) (年数不明)	コミュニティセンターまつりでの学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	生涯学習課	令和5年度は各地区文化祭を、コミュニティセンター(旧公民館)ごとに、次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区：11/17-11/19(久喜中央コミュニティセンター) ●江面地区：11/11-11/12(農村センター) ●久喜東地区：2/17-2/18(久喜東コミュニティセンター) ●青葉地区：2/3-2/4(青葉コミュニティセンター) ●清久地区：11/25-11/26(清久コミュニティセンター) ●菖蒲地区：2/17-2/18(森下コミュニティセンター) ●栗橋地区：2/17-2/18(栗橋中央コミュニティセンター) ●鷺宮地区：2/10-2/11(鷺宮中央コミュニティセンター)	各地区文化祭が同時期に集中しているため、開催時期を分散する等調整を図る必要があります。
	103	生涯学習研修大会 (まなびすとフォーラム) (11回目)	まちづくりをテーマに、市民の意見交換の場として開催します。	生涯学習課	令和5年度は6月10日(土)に実施しました。 「あなたにとって久喜のまちづくりとは」というテーマで、約90名の方に参加いただきました。 8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。	参加者の募集方法や大会の開催方法についてより良い実施方法を検討する必要があるほか、討議結果の活用を進める必要があります。
	104	生涯学習推進大会 (まなびすと久喜) (12回目)	生涯学習をしている方の学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場として開催します。	生涯学習課	令和6年3月3日(日)に開催予定です。 各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただく大会となるようにします。	参加者の増加につながるよう、開催時期や開催内容等について、参加者のニーズに合ったものになるよう検討する必要があります。
	105	市民文化祭事業、文化振興事業の実施 (年数不明)	文化活動への参加・鑑賞・発表の機会を設定します。	生涯学習課	久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民及び文化団体等に対して、発表及び鑑賞の機会を提供します。また、市内各文化団体連合会等との共催で文化祭事業を実施します。	参加者の増加に繋がるよう、周知方法等について見直しを検討していきます。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上				
学習意欲の向上	106	よろこびのまち久喜マラソン大会 ※再掲(連番No.79) (9年目)	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日:令和6年3月24日(日) 予定 会場:総合運動公園スタート・ゴール 種目:ハーフ、3km、1.5km	前回大会が雨天による開催だったため、ゴール付近のグラウンド状態が悪く、ゴール位置の変更や出店ブースの配置等の検討要望が挙げられたことから、それらの要望等の改善に向けて検討する必要があります。
	107	くき健康ウォーク ※再掲(連番No.80) (9年目)	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日:令和5年10月15日(日)予定 コース:久喜市内 内容:地図をもとに、ウォーキングをしながらチェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指します。	毎年、地区を変えてウォーキングコースを設定していたが、参加者が定員に達しない状況であったことから、より多くの参加をいただけるよう内容を検討していく必要があります。
	108	スポーツ体験イベント ※再掲(連番No.81) (2年目)	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	期日・会場:未定 内容:ポッチャなど様々なスポーツを通じて体験しながら、参加者等との交流を図ります。	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。
	109	ふれあいスポレク・フェスタ ※再掲(連番No.47.83) (14年目)	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時:令和5年9月16日(土) 予定 会場:毎日興業アリーナ 久喜 サブアリーナ 概要:障がい者の方も楽しめるポッチャをはじめとする様々なスポーツ・レクリエーション種目を用意し、体験機会を作ります。	例年、参加者が伸び悩んでいる状況であるため、参加対象者を広く募集することや、障がい者スポーツ種目を検討していく必要があります。
	110	吹奏楽フェスティバル (32回目)	市内中学校や高等学校、市民吹奏楽団に出場する機会を提供します。	生涯学習課	埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバルを11月12日に開催する予定です。 (出演予定団体16団体)①久喜中学校②久喜東中学校③太東中学校④菖蒲中学校⑤栗橋東中学校⑥鷲宮中学校⑦鷲宮西中学校⑧鷲宮東中学校⑨久喜高等学校⑩鷲宮高等学校⑪久喜北陽高等学校⑫久喜市民吹奏楽団⑬しょうぶ・しみん吹奏楽団⑭鷲宮ウインドアンサンブル⑮越谷市立大相模中学校⑯花咲徳栄高等学校	来場者数の制限を撤廃した、通常どおりの方法での開催に向けて調整していきます。 インターネットライブ配信を継続するとともに、姉妹都市のローズバーグ市に向けても周知を行います。
	111	街かどコンサートの充実 (9年目)	音楽愛好家や音楽家の発表の機会をつくり、だれもが気軽に音楽を楽しめるコンサートを開催します。	生涯学習課	街かどコンサートを年8回開催する予定です。 (実施済み) ①R5.6.17(土)開催 326人会場 会場:ブルーフェスティバル会場	若い世代の演奏登録者の掘り起こしをしていく必要があります。 出演者同士が交流できるような機会を設定していく必要があります。
	112	各地区市民体育祭 ※再掲(連番No.84) (年数不明)	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和5年度は次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区:11/3(久喜小学校)●江面地区:9/24(江面小学校) ●久喜東地区:10/1(久喜東小学校)●青葉地区:10/22(青葉小学校) ●清久地区:10/14(清久小学校)●菖蒲地区:10/22(菖蒲中学校)●栗橋地区:10/1(南栗橋スポーツ広場)●鷲宮地区:10/8(鷲宮運動広場)	開催に向けた協議にあたり、開催時間や競技の見直し等、参加者及び運営側の安全を確保し、安心して体育祭を実施できる方法を検討する必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	2	いかす～学んだことがいかせる機会の充実～				
	3	ボランティア活動の充実				
ボランティア・コーディネーターの養成	113	久喜市赤十字奉仕団員 (年数不明)	災害が起きたときに助けあえる地域づくりに向けて、炊き出し訓練や募金活動等を行います。	社会福祉課	令和5年度は炊き出し訓練の実施は予定していません。なお、地区でのイベント開催時に募金の呼びかけは行っています。	今後、防災訓練等に参加をして炊き出し訓練等ができるように検討いたします。
	114	手話奉仕員養成講座 (年数不明)	手話の知識や技術を習得し、聴覚障がい者を支援するボランティアを養成します。	障がい者福祉課 久喜市社会福祉協議会	【障がい者福祉課】 令和5年度久喜市地域生活支援事業として、久喜市社会福祉協議会へ委託し、手話奉仕員の養成講座を開講しています。 ・入門編 21回実施予定 受講者19人 ・基礎編 25回実施予定 受講者8人 【久喜市社会福祉協議会】 手話奉仕員養成講座入門編を6月9日(金)からふれあいセンター久喜にて受講者19名で実施しています。基礎編は5月18日(木)から健康福祉センター(くりむ)にて受講者8名で実施しています。どちらも11月までの予定です。	【久喜市社会福祉協議会】 講座が長期間に渡るため、会場確保や機材準備が課題です。また、定員を超えた時のフォローや対応が必要です。
	115	各種ボランティア養成講座や講習会 ※再掲(連番No.88) (年数不明)	地域ボランティアの養成、ボランティア団体の活動助成、地域福祉の振興に努めます。	久喜市社会福祉協議会	共生支援事業「障がいを知り、災害時に支えあえる地域づくり」を64名の参加者と共に5月13日(土)に実施しました。また、ガイドヘルプボランティア養成講座を6月2日、9日、16日の各金曜日に実施し、3名終了しました。そのほか、現在音訳ボランティア養成講座、点訳ボランティア養成講座を実施しています。	ガイドヘルプボランティア養成講座、点訳ボランティア養成講座は、受講者が定員(各20名)に満たなかったため、期間や内容の検討を図っています。
	116	学校応援団コーディネーター研修会 (13年目)	学校応援団の方を対象に研修会を開催し、コーディネーターを養成します。	指導課	令和5年度は久喜市教育委員会主催の研修会を3学期に実施予定です。学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和5年度は延べ11,013人の方が参画予定です。コーディネーターはその調整役として、久喜市学校応援団推進事業実施要領に基づき各校に配置されるもので、当研修はコーディネーターを養成するために実施されます。	児童の学習支援・体験活動だけでなく、教職員の学校における働き方改革を踏まえた活動としての充実を、その調整役となる学校応援団コーディネーターを中心に据えながらさらに図っていく必要があります。
	117	ボランティア情報の充実 (年数不明)	ボランティア活動に関する活動相談、情報交換、情報提供等、活動の活発化を目指し、ボランティア情報を充実します。	生涯学習課 久喜市社会福祉協議会	【久喜市社会福祉協議会】 5月17日(水)ふれあいセンター久喜、19日(金)菖蒲文化会館にて登録ボランティア団体代表者会議を実施し、計40名の参加がありました。団体同士の情報交換を行いました。また、ホームページ、YouTubeくき社協ちゃんねる、情報配信サービス、LINEにおいて、ボランティア情報や助成金情報を紹介しています。	【久喜市社会福祉協議会】 ホームページやSNSの閲覧数を上げることができる情報発信が求められています。
	118	生涯学習ボランティアの育成と活用 ※再掲(連番No.92) (年数不明)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、今後、コミュニティセンターのまつりや、市民芸術祭といった事業に運営ボランティアとして参加する予定です。久喜市市民大学では、今後、市民まつりやコスモスフェスタといった事業に運営ボランティアとして参加する予定です。	久喜市市民大学・高齢者大学に限らず、幅広くボランティアの人材を育成していく必要があります。
	119	郷土資料館ボランティアの養成 (16年目)	調査、資料整理等の活動に協力するボランティアを養成します。	郷土資料館	令和5年7月31日現在、ボランティアの登録人数は15人です。令和5年度の郷土資料館ボランティアの主な活動内容は以下のとおりです。 ①子ども向けの講座と展示案内 主な活動内容は、子ども向け講座の「子ども歴史広場」・「郷土資料館まつり」の準備・運営事業と小学校の社会科見学の際の展示案内です。令和5年度7月31日現在、子ども向け講座の準備・運営にかかる活動を7回実施し、展示案内を1件実施しています。 ②古文書整理補助 主な活動内容は、資料館で収蔵している古文書の整理で、文書整理指導員の指導のもと、実施しています。令和5年度7月31日現在、古文書整理補助は10回実施しています。	ボランティアの講座運営や展示案内、古文書整理の能力向上のため、ボランティアの意見を取り入れながら、学芸員や文書整理指導員によるボランティアの養成を図っていく必要があります。また、ボランティアの高齢化が課題となっており、継続的なボランティア活動のためには、新規のボランティア入会者を継続して募っていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
					【久喜ブランド推進課】 8月5日(土)実施予定のコスモスふれあいロードの種まきや、10月15日(日)実施予定の市民まつりは、広くボランティアを募集します。 【スポーツ振興課】 期日:令和6年3月24日(日) 予定 会場:総合運動公園スタート・ゴール 内容:円滑に大会運営が図られるようスポーツ団体等から運営ボランティアを募集します。 【生涯学習課】 令和6年3月3日(日)実施予定の生涯学習推進大会「まなびすと久喜」において、久喜市高齢者大学等、広く市民からボランティアを募集し、運営をしていきます。	
	2	いかす～学んだことがいかせる機会の充実～				
	3	ボランティア活動の充実				
ボランティア活動の場の充実	120	イベントボランティアの充実 (スポーツ振興課:9年目) (生涯学習課:12年目)	コスモスふれあいロードの種まきや市民まつり、生涯学習推進大会をはじめとした各種イベントにおいて、広く市民からボランティアを募集します。	久喜ブランド推進課 スポーツ振興課 生涯学習課		【久喜ブランド推進課】 今後、さらなる充実を図るため、より多くの周知方法を検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 ボランティアの確保について、市民によるボランティアだけでなく、市外からも広く募集しボランティアの確保及び活用を図る必要があります。 【生涯学習課】 コロナ禍の影響もあり、一般公募のボランティアが集まりにくい状況であるため、イベントの開催について広く周知して参加につなげていく必要があります。
	121	夏のボランティア体験の充実 (年数不明)	夏休み中に気軽に参加できるボランティア体験を実施します。	久喜市社会福祉協議会	7月31日までに車いす体験、手話体験、エコキャップ体験、子ども食堂体験、STT体験、施設ボランティアを実施し、47名が参加をしました。8月、9月にもボランティア体験を実施しています。	感染対策や安全対策を受入施設や関係機関等と調整する必要があります。
	122	清掃美化活動 (13年目)	住民との協働による道路環境づくりを推進します。	建設管理課	「道路愛護事業」として、行政区単位で清掃美化活動を実施しています。 4月の区長会で協力を依頼し、35の行政区から、道路清掃及び除草等について実施報告書が提出されました。 「道路里親事業」では、32団体(令和4年度中、新規認定1団体、認定廃止1団体)を道路里親として認定しており、歩道及び植樹帯の清掃作業等を実施しています。	安全で通行しやすい道路環境を維持管理していくには、住民との協働による清掃美化活動が不可欠です。道路愛護事業の参加率や道路里親団体の新規認定など、道路愛護意識のさらなる向上につなげる啓発方法や、より活動しやすい支援体制について検討が必要と考えます。
	123	学校応援団 (13年目)	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等の学校の支援をします。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和5年度は延べ11,013人の方が参画予定です。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に推進していきます。	児童の学習支援・体験活動等だけでなく、教職員の学校における働き方改革を踏まえた活動としての充実をさらに図っていく必要があります。
	124	小・中学生ボランティア手帳の活用推進 (年数不明)	市内小・中学生にボランティア手帳を配布し、ボランティア意識の向上を図るとともに、ボランティア活動に関する情報を提供します。	生涯学習課	令和5年5月に市内各小学校に、新1年生分のボランティア手帳を配布しました。 各小中学校からボランティア手帳の配布希望があった場合、速やかに配布し、ボランティア意識の向上を図ることができました。	校長会や教頭会等をとおして、更なるボランティア手帳の周知を図る必要があります。
	125	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ) ※再掲(連番No.18) (19年目)	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)での指導サポーター・活動サポーター・下校サポーターとして活動を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに楽しい居場所を提供することができています。 ・参加予定児童数は:2,989人 ・開設講座数:402講座 ・実施委員人数:389人 ・サポーター数:1,905人 ・児童参加率:49.6%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
	126	ライフステージに応じたボランティア活動の充実 (年数不明)	人生各期の特性に応じたボランティア活動への情報の提供に努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて、指導者サポーター、活動サポーター、下校サポーターといったボランティア活動の情報提供をするため、チラシを作成し生涯学習課窓口に配架しました。	今後、更に幅広い事業で、ボランティア活動への情報の提供を実施していく必要があります。
	127	コミュニティセンターまつり ※再掲(連番No.55.102) (年数不明)	各コミュニティセンターで開催されるコミュニティセンターまつりへのボランティアの参画を推進します。	生涯学習課	令和5年度は各地区文化祭を、コミュニティセンター(旧公民館)ごとに、次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区:11/17-11/19(久喜中央コミュニティセンター)●江面地区:11/11-11/12(農村センター)●久喜東地区:2/17-2/18(久喜東コミュニティセンター)●青葉地区:2/3-2/4(青葉コミュニティセンター)●清久地区:11/25-11/26(清久コミュニティセンター)●菖蒲地区:2/17-2/18(森下コミュニティセンター)●栗橋地区:2/17-2/18(栗橋中央コミュニティセンター)●鷺宮地区:2/10-2/11(鷺宮中央コミュニティセンター)	各地区文化祭が同時期に集中しているため、開催時期を分散する等調整を図る必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～
 施策 1 人材ネットワークの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
人材の活躍の場づくり	128	市民活動団体の紹介 (16年目)	地域交流や仲間づくりのために継続的に活動している市民活動団体を紹介します。	市民生活課	市民活動情報コーナー及び市ホームページで、市民活動を行う団体の情報提供を実施しました。 市ホームページにおいて、市民活動団体の活動内容等を紹介し(7/31現在:211団体)、市広報誌への掲載依頼や市内17施設に設置された市民活動情報コーナーへのチラシの配架等でイベント等の活動情報の広報支援を行っています。	市民活動団体の情報提供は任意の登録制であるため、市内すべての市民活動団体の情報を網羅しておりません。未登録の団体及び新規に立ち上げたばかりの団体にも本制度の利用を促していく必要があります。
	129	市民参加の推進 (12年目)	市民参加の情報及び機会の提供、啓発を行い、市民が市政に対して意見、または提案することができる市民の参加を推進します。	市民生活課	令和5年度は、広報くき、市ホームページ、市民参加コーナー、市SNS、市民参加推進員(まちづくりサポーター)への情報提供の方法により、市民参加の情報及び機会の提供、啓発を実施しています。 また、市民が市政に対して、意見することができる制度の1つである市民意見提出制度(パブリック・コメント)につきましては5件実施予定です。	若い世代の市民参加が少なく、幅広い世代の市民参加に繋がっていないため、市民参加の情報及び機会の提供、啓発方法について検討する必要があります。
	130	活動機会提供の充実 (スポーツ振興課:9年目) (生涯学習課:12年目)	市民まつり、生涯学習推進大会、市民体育祭、久喜マラソン大会等の各種イベント及び子どもたちの様々な体験活動におけるボランティア活動や地域活動に学習の成果を幅広くいかせる活動機会の提供を充実します。	久喜ブランド推進課 スポーツ振興課 生涯学習課	【久喜ブランド推進課】 令和5年度の市民まつりは、子ども芸能発表会の参加者やボランティアを募集予定です。 【スポーツ振興課】 期日:令和6年3月24日(日) 予定 会場:総合運動公園スタート・ゴール 内容:円滑に大会運営が図られるよう市民から一般公募し、運営ボランティアとしての活動機会を提供します。 【生涯学習課】 令和6年3月3日(日)実施予定の生涯学習推進大会「まなびすと久喜」において、子どもから高齢者まで日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を設けます。	【久喜ブランド推進課】 イベントの担い手不足が懸念されるため、募集方法等について検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 ボランティアの確保について、市民によるボランティアだけでなく、市外からも広く募集しボランティアの確保及び活用を図る必要があります。 【生涯学習課】 イベント開催について広く周知し、新たな参加団体を発掘して、参加団体の増加につなげていく必要があります。
	131	学校応援団 ※再掲(連番No123) (13年目)	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等を行います。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和5年度は延べ11,013人の方が参画予定です。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に推進していきます。	児童の学習支援・体験活動等だけでなく、教職員の学校における働き方改革を踏まえた活動としての充実をさらに図っていく必要があります。
	132	公民館事業運営委員の任用 (年数不明)	主体的な学習活動を支援するため、公民館事業運営委員による公民館事業の企画運営を行います。	生涯学習課	8地区80人定員(1地区10人定員)のところ72人任用しています。 ●久喜中央地区:10人●江面地区:10人●久喜東地区:9人●青葉地区:7人●清久地区:10人●菖蒲地区:8人●栗橋地区:9人●鷲宮地区:9人	公民館事業のより良い企画運営のため、広報くきや市ホームページを通して募集していきます。
	133	生涯学習推進会議の充実 (年数不明)	生涯学習事業の推進に関する基本的指針の策定、生涯学習の普及・奨励を推進する生涯学習推進会議を充実します。	生涯学習課	令和5年度は2回(9～10月頃、2～3月頃)に実施予定です。 生涯学習事業(まなびすとフォーラム、まなびすと久喜等)の計画・報告や、第2次久喜市生涯学習推進計画(まなびすとプラン2)の点検・見直しを図り、着実な推進を図っていきます。	限られた会議回数で、円滑に情報の共有化を図る必要があります。
	134	生涯学習推進部の拡充 (年数不明)	市民の手による生涯学習のまちづくりを総合的に推進する生涯学習推進部を拡充します。	生涯学習課	コロナ禍でここ数年実施できていなかった「生涯学習推進部視察研修」を秋頃実施予定です。他自治体の先進事例を視察し、本市の事業に生かすことで、生涯学習の更なる推進を図ります。	生涯学習推進部員数の減少が進んでいるため、各地区まつり等のイベントで生涯学習推進部の活動紹介や部員を募集するブースを出展して広く周知を図り、部員数の増加につなげていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～

施策 1 人材ネットワークの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
企業による学習支援の推進	135	社会体験チャレンジ (13年目)	キャリア教育の一環として、中学生が職場体験を行い、働くことの意義について学びます。	指導課	昨年度までは新型コロナウイルスの影響により職場での体験活動が十分にできなかった学校もありましたが、令和5年度は全ての中学校において、職場体験学習を実施する予定です。1学期には2校実施済みです。	新型コロナウイルス感染拡大防止等の理由により職場体験学習に協力いただける事業所の減少が見られることから、新たな事業所の確保が必要となります。
	136	生涯学習イベント交流の推進 (12年目)	生涯学習推進大会等の生涯学習イベントにおいて、企業・事業所等の参加を促進し、地域社会を構成する一員として学習交流を深めます。	生涯学習課	生涯学習推進大会「まなびすと久喜」において、社会福祉法人等の参加を調整していく予定です。	新たな参加団体を増やすため、イベントの開催について広く周知し、参加につなげていく必要があります。
	137	企業による出前講座 (年数不明)	企業に蓄積された知識や技能を、市民のキャリアアップ等の学習活動にいかせるような、企業による出前講座を実施します。	生涯学習課	生涯学習出前講座に、企業による講座を2つ用意しています。令和5年7月31日現在では、当該講座の申し込みはありませんでした。	市民向けの公開出前講座をととして、企業による出前講座の周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。
	138	事業所見学 (年数不明)	市民大学において市内の事業所を見学し、地域社会との連携について学習します。	生涯学習課	令和5年度は、次のとおり見学予定です。 ・9月29日(金)1年生講座「下水道処理に学ぼう」公益財団法人埼玉県下水道公社古利根川支社 ・11月27日(月)1年生講座「ごみ問題を考えよう」久喜宮代清掃センター	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。
	139	大人の社会科見学 (年数不明)	公民館事業において、事業所見学を実施します。	生涯学習課	7月18日学校給食センターの施設見学を実施しました。 今後も、首都圏外郭放水路や造幣局等の見学を予定しております。	各公民館事業単位で事業を企画し実施するため、同様の事業を同時期に行わないよう調整を図る必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～
 施策 2 施設ネットワークの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
学校施設の開放と活用	140	学校体育施設の開放の推進 (14年目)	小・中学校の体育館、校庭を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放します。	スポーツ振興課	実施期間: 令和5年4月から令和6年3月まで 利用団体数: 221団体 内容: 市内在住・在勤・在学する方で、10人以上で構成する団体に学校体育施設を開放し、市民の健康増進と体力の向上を図ります。	身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、多くの市民に活用してもらえるよう施設開放の充実を図ります。
	141	総合型地域スポーツクラブの創設支援 (14年目)	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間: 令和5年4月から令和6年3月まで 内容: 市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知します。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	クラブの育成・支援を推進する体制を強化するとともに市民が気軽に参加できるスポーツの場として、持続的な運営のための支援をしていきます。
	142	特別教室等の開放の推進 (年数不明)	特別教室等で子どもたちが地域住民と新たな学習活動や居場所として交流、連携の場となるように施設開放を検討し、関係機関と調整します。	教育総務課 指導課 生涯学習課	【生涯学習課】 市民の文化活動及び生涯学習活動の充実を図るため、上内小学校の「ふれあいの部屋」を開放しています。	【生涯学習課】 今後、利用団体を増やしていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～
 施策 2 施設ネットワークの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
生涯学習関連施設の環境整備	143	情報インフラの整備 (3年目)	各施設において、フリーWi-Fiの利用ができるよう情報インフラの整備に努めます。	情報推進課	コミュニティセンター等の公共施設21施設に設置された公衆無線LANの運用を行いました。	今後も、市民に身近な生涯学習活動の場として活用される施設については、積極的にWi-Fiの設置を検討してまいります。
	144	公文書館の充実 (30年目)	公文書館所蔵資料の充実を図ります。	公文書館	公文書館では、公文書のライフサイクルに基づき所定の保存年限を経過した公文書を、公文書館職員が1点1点確認しながら評価選別を行い、歴史公文書として保存した所蔵点数は、令和5年7月31日現在で35,646点となりました。特に近年では、後世に残る新型コロナウイルス感染症の関連資料を歴史公文書として保存しています。また、その他、歴史価値のある古文書を11,665点所蔵しています。これらの所蔵資料は、閲覧等により市民の利用に供しています。	高温湿度は歴史公文書の劣化を早める原因になるため、適正な温湿度が保てる環境整備を行う必要があります。
	145	芸術文化作品の映画鑑賞等各種のイベント (市民生活課:36年目) (生涯学習課:年数不明)	地域文化の振興を図り、市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらすため、各種の自主文化事業を開催します。	市民生活課 各文化会館 生涯学習課	【市民生活課】 指定管理者により、映画鑑賞会やピアノ演奏会などの自主事業が実施されています。 なお令和5年度については、3館合計で38の自主事業を予定しています。 【生涯学習課】 久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民及び市内文化団体連合会等に対して、発表及び鑑賞の機会を提供します。	【市民生活課】 各館の施設や規模を活かしながら、市民ニーズの高い自主事業を実施していきます。 【生涯学習課】 参加者の増加に繋がるよう、周知方法等について見直しを検討していきます。
	146	子どもをサポートする事業の充実 (児童センター:33年目) (鷲宮児童館:41年目)	コミュニティセンター、図書館、児童センター等において、子どもの体験活動等のプログラムを拡充し、子どもをサポートする事業を充実します。	児童センター 鷲宮児童館 生涯学習課	【児童センター】 令和5年度は小学生以上向けに51事業を企画し、7月末までに14事業を開催しました。夏休み期間に集中的に小学生向けの講座を開催し、その後は体育事業、うどん作りなどの体験型の事業を開催予定です。 【鷲宮児童館】 令和5年度は小学生以上向けに39事業を企画し、7月末までに13事業を開催しました。夏休み期間では電気教室をはじめ、小学生向けの事業を集中的に実施し、その後は毎月開催している事業で、児童の健全な発育をサポートする機会を定期的に設けます。	企画により参加者の多少があるため、いかに魅力的な企画をするか、また事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。
	147	スポーツ施設の充実 (年数不明)	市民にとって利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の充実に努めます。	スポーツ振興課	○体育施設改修事業 鷲宮温水プール空調設備改修工事 R5.7.26完了 沼井公園テニスコート改修工事 R5.8月～11月予定 菖蒲温水プールろ過ポンプ改修工事 R5.10月予定 寺田緑地グラウンドベンチ設置工事 R5.12月予定 ○総合運動公園施設整備事業 総合運動公園改修工事設計業務委託 R5.8月～R6.7月予定 ○総合体育館大規模改修事業 総合運動公園大規模改修工事 R5～R6年度予定	市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション施設を提供するため、計画的に改修・修繕を実施していく必要があります。 総合運動公園に新たに整備するスケートボード場及び3X3バスケットボール場は、多くの市民に利用されると共に、大会誘致やプロチームとの連携など、地域の活性化に資するような施設となるよう整備する必要があります。
	148	学校図書館と市立図書館の連携の充実 (指定管理者導入5年目)	学校図書館と市立図書館の連携を推進します。	指導課 生涯学習課	【生涯学習課】 学校訪問事業を市内全小学校で実施します。(学校訪問事業実施学校数 21校中19校実施) 学校への団体貸出を実施します。(学校への団体貸出冊数 135冊) 学校と連携した市立図書館利用券の発行を行い、市立図書館及び電子図書館の利用促進を図ります。令和5年度は4地区で各1校1学年以上の登録を予定しています。	【生涯学習課】 学校と連携した市立図書館利用券の発行について、段階を踏みながら市内全校へ拡大して行う予定です。
	149	公民館事業の充実 (年数不明)	主体的な学習活動を支援するため、様々な公民館事業を各コミュニティセンター等で実施し、内容を充実します。	生涯学習課	各公民館事業につきましては、各地区単位で19事業実施し、1,099人の参加がありました。 (●久喜中央地区:4事業66人●江面地区:3事業506人●久喜東地区:2事業291人●青葉地区:1事業10人●清久地区0事業0人●菖蒲地区:4事業73人●栗橋地区:2事業20人●鷲宮地区:3事業133人)	各地区単位で事業を企画し実施するため、同種の事業を同時期に行わないよう、調整を図る必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
	150	図書館施設の充実 (指定管理者導入5年目)	図書館施設設備の充実を図り、おはなし会や映画会、各種講座を実施します。	生涯学習課	紙媒体の広報くきや図書館だよりによる情報提供を行うとともに、図書館ホームページやSNS等のインターネットを活用した情報発信を行い、図書館自主事業(各種講座)の周知に努めました。 館内のインターネット接続環境を整え、利用者インターネット検索端末を設置するなど設備の充実を図り、図書館のICT化を進めます。 「久喜市電子図書館」の周知に努め、定期的な資料の収集を進めています。 久喜市電子図書館タイトル数(令和5年7月31日現在 3,784点)	ICTのさらなる活用を進め、図書館サービスを向上させることで、新たな利用者獲得につなげていく必要があります。
	151	生涯学習関連施設有効利用の推進 (生涯学習課:3年目) (郷土資料館:年数不明)	学校、コミュニティセンター、図書館、体育館、郷土資料館、文化会館等の生涯学習関連施設を学習活動に有効活用しやすいように仕組みを整え、地域ぐるみの総合的な学習環境を整備します。	生涯学習課 郷土資料館	【生涯学習課】 令和4年度3月に開設した生涯学習施設「まなびすポット」において、久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広い学習環境を整備することができました。 【郷土資料館】 郷土資料館では、展示だけでなく、図書閲覧コーナーの利用や学芸員によるレファレンス、さらには各種講座の実施等、学習活動が行える環境を整備しています。 また、令和2年度から、市立図書館と連携して、過去の郷土資料館の展示等を参考にテーマを決めて、館蔵資料等をデジタルアーカイブシステムに掲載して公開することで、市民等が自宅で学習できるようにしています。 令和2年度 中島撫山関係資料(既載) 令和3年度 関所番士島田家関係資料(既載) 令和4年度 鷲宮神社関係資料(既載) 令和5年度 本多静六関係資料(準備中)	【生涯学習課】 今後、市民大学生や高齢者大学生を中心に、さらに使用していただけるよう呼びかけていく必要があります。 【郷土資料館】 更なる学習環境の向上のため各種講座を様々なテーマで企画立案するとともに、市立図書館のデジタルアーカイブシステムを充実することで学習の幅を広げていく必要があります。
	152	生涯学習施設「まなびすポット」自主事業の充実 ※新規 (1年目)	市民の学習活動・課題解決を支援するために、市民のニーズを反映した自主事業を提供します。	生涯学習課	久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広く学習の場を提供することができました。	今後、市民大学生や高齢者大学生を中心に、さらに使用していただけるよう呼びかけていく必要があります。
	153	郷土資料館の充実 (25年目)	郷土資料館施設設備の充実を図ります。	郷土資料館	資料の受贈、他自治体刊行物の配架、参考図書の購入等を通して、館蔵資料及び館蔵資料に関係する参考図書等を充実させていきます。	経年による施設設備の修繕や備品の更新、館蔵資料の増加に伴った収蔵スペースの確保などについて、引き続き検討していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
		基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～				
		施策 3 地域ネットワークの充実				
学校教育と社会教育との連携・協力	154	学校運営協議会(コミュニティ・スクール) (7年目)	保護者や地域の住民の力を学校運営にいかす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和5年度は、より充実した学校運営協議会のため、4月21日に市内全ての小・中学校の全委員集合型研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の定期的な開催に対し、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進していきます。	令和4年度のコミュニティ・スクールマイスターによる講演会や4月の実践発表会を踏まえ、本事業7年目となる令和5年度は、子供たちの探究的な学びへの効果的な参画を広める等、市内各学校運営協議会のさらなる充実を進めていく必要があります。
	155	学校応援団 ※再掲(連番No.123.131) (13年目)	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等の学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和5年度は延べ11,013人の方が参画予定です。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に推進していきます。	児童の学習支援・体験活動等だけでなく、教職員の学校における働き方改革を踏まえた活動としての充実をさらに図っていく必要があります。
	156	中学生学力アップ教育推進事業 ※再掲(連番No.15) (8年目)	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和5年度は、市内全体で301名の中学生が参加しており昨年度より8名多くなっています。学校ごとに、年間30回の実施を予定しています。	国と県の中学生学力アップ教室事業費補助金が毎年減額されており、コーディネーター及び指導員の配置人数を減らしながら対応しています。生徒一人ひとりに細やかな支援をするためにも、各校毎回4名以上指導員を配置できるようにする必要があります。
	157	地域学校協働活動の推進 (3年目)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができます。	地域学校協働活動推進員の高齢化・後継者不足が課題です。
	158	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ) ※再掲(連番No.18.125) (19年目)	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)での指導サポーター・活動サポーター・下校サポーターとして活動を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに楽しい居場所を提供することができています。 ・参加予定児童数は:2,989人 ・開設講座数:402講座 ・実施委員人数:389人 ・サポーター数:1,905人 ・児童参加率:49.6%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～

施策 3 地域ネットワークの充実

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
高等教育機関などの活用	159	大学公開講座の活用 (年数不明)	高等教育機関の実施する大学公開講座を紹介しします。	生涯学習課	高等教育機関から受講生募集案内を受取した時は、生涯学習課窓口にて案内を配架しました。 高等教育機関の実施する講座を周知することができました。	生涯学習課窓口の配架スペースに限りがあるため、より多くの案内を周知できるよう改善する必要があります。
	160	高等教育機関等の積極的活用 (まなびすとフォーラム:11年目) (子ども大学:12年目)	市内にある県立高校や、その他の高等教育機関と連携し、専門的な学習支援を促進します。	生涯学習課	市内高校に依頼をし、生徒に「まなびすとフォーラム」(令和5年6月10日実施)に参加していただきました。 また、今後は平成国際大学(加須市)と連携し、子ども大学(8月～10月開催)を実施します。	市内の高等学校や包括連携協定を結んでいる高等教育機関等と連携し、イベントの開催や参加について検討する必要があります。
	161	地域住民と大学生の交流の促進 (年数不明)	地域の活性化を目指し、地域の行事に学生が参加しやすい場を設け、地域住民と大学生との交流を促進します。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて運営に携わるサポーターを、大学生や地域住民を対象に募集しました。 大学生と地域住民との交流を促進することができました。	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)のような、大学生と地域住民が交流できる場を、さらに多く設ける必要があります。
	162	子ども大学くき ※再掲(連番No.19) (12年目)	大学や久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度は、定員を60名とし、次のとおり実施予定です。 ・1日目 日程:8月27日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「ダンスワークショップ～からだで遊ぼう～」 ・2日目 日程:9月10日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「ウクライナってどんな国?」「われらHIU(エイチ アイ ユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月24日(日) 会場:鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「避難所生活を体験しよう!!」 ・4日目 日程:10月1日(日) 会場:鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「おはしチャレンジ」「修了式」	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。
生涯学習出前講座の拡充	163	生涯学習出前講座の充実 ※再掲(連番No.57) (年数不明)	出前講座の内容を行政職員のみならず、民間企業、公共機関、市民へと広げ、より充実した講座メニューを提供します。	生涯学習課	令和5年7月31日現在、24件の申請がありました。 10人以上の団体・グループに生涯学習機会を提供することができました。	市民向けの公開出前講座をとおして、出前講座の周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。
	164	生涯学習出前講座活用事業 ※新規 (1年目)	市民のニーズに合った生涯学習出前講座を生涯学習施設「まなびすポット」で開催します。	生涯学習課	令和5年度は、公開出前講座を3回実施する予定です。第1回目は、8月21日に、消防防災課職員による公開出前講座を予定しています。	今後、より市民の方に活用していただくため、生涯学習出前講座を周知していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 1 情報提供体制の強化					
多様な媒体を活用した情報提供体制の強化	165	広報くきの発行 (14年目)	毎月、市民と市政をつなぐ情報を盛り込んだ広報紙を発行します。	市政情報課	毎月1日に広報くきを発行しており、令和5年度はこれまで3回発行しました。 広報くきは全戸配布のほか、市ホームページへの掲載、スマートフォン向けアプリ「マチイロ」「カタボケ」での配信など、様々な媒体で市民の方へ情報をお届けしました。 発行部数は次のとおりです。 5月号:62,650部 6月号:62,600部 7月号:62,550部	広報紙等全戸配布にかかる区長の負担軽減を図るとともに、紙使用削減の全庁的な取り組みに伴い、広報紙のページ数削減(平均4ページ程度の削減)を行うため、掲載内容や方法を精査する必要があります。
	166	公文書館の活用 (30年目)	歴史資料として重要な市の公文書等の保存と活用に努めます。	公文書館	公文書館では、公文書のライフサイクルに基づき所定の保存年限を経過した公文書を、公文書館職員が1点1点確認しながら集中して評価選別を行い、「歴史資料として重要な市の公文書」など、公文書館所蔵資料の充実に努めました。その結果、収蔵している歴史的公文書は35,646点に及びました。当館の主な業務である公文書の「評価選別」の重要性を広く知っていただくため、11月頃に「評価選別の成果と行政資料の数々」をテーマに企画展を開催する予定です。	高温湿度は歴史公文書の劣化を早める原因になるため、適正な温湿度が保てる環境整備を行う必要があります。 企画展の開催について、一人でも多くの市民に関心を持ってもらうよう、広報紙をはじめ、市ホームページ、SNSで紹介する等、積極的な情報発信を行っていく必要があります。
	167	コミュニティセンターだよりの作成 (年数不明)	公民館事業の紹介やお知らせ等を市民に提供します。	市民生活課 生涯学習課	公民館だよりに相当する広報誌を作成しているのは各地区公民館事業単位8地区中1地区のみです。	公民館のコミュニティセンター化に伴い、公民館事業につきましては、広報くきや市のホームページを活用し、市民に広く周知していきます。
	168	サークル・クラブ情報誌の充実 (スポーツ少年団:12年目) (スポーツ協会:9年目) (文化団体:年数不明)	コミュニティセンター等を利用する団体や文化団体、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会などの生涯学習推進のサークル・クラブを紹介する情報誌を充実します。	スポーツ振興課 生涯学習課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会及びスポーツ少年団本部において、活動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安定、充実を図ります。 【生涯学習課】 市内文化団体連合会等の広報紙の発行等について、団体に補助金を交付して支援しています。	【スポーツ振興課】 団体数及び会員数の減少が懸念されています。 【生涯学習課】 市ホームページへの広報紙の掲載などにより、広報紙の内容について市民に広く周知していく必要があります。
	169	生涯学習だより「まなびすと久喜」の発行 (25・26号発行)	「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を、広く市民に提供する生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を発行します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第25号を8月1日付け広報紙に折り込む形で発行しました。 内容:高齢者大学・市民大学入学式、まなびすとフォーラム、サークル団体の紹介等 次号の第26号は令和6年1月1日発行予定です。	掲載内容の充実した広報紙となるよう、生涯学習推進部広報部会と情報を共有していく必要があります。また、広報紙による生涯学習推進部の活動紹介を通して、生涯学習推進部員の増加につなげていく必要があります。
	170	学習情報の提供 ※再掲(連番No.72) (年数不明)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行いました。加えて、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行いました。	「久喜市市民大学公開講座」、「久喜市高齢者大学オープン高大」やその他事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)の積極的な活用をしていく必要があります。
	171	文化財の活用及び市史編さん (年数不明)	指定文化財の説明板の設置や各種出版物を編さん・刊行します。	文化財保護課	令和5年度は、市指定文化財の説明板を1基、新規に設置予定です。なお、各種出版物の編さん・刊行の予定はありません。	文化財を活用できるようにするためには、科学的な調査研究を経て得られた成果を、各種出版物や編さん物として刊行する等の積極的な情報提供が第一歩であり、そのための地道な努力を積み重ねていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	4 2	支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 相談体制の強化				
相談体制の強化	172	人権相談・女性相談 (年数不明)	子どもや家族、自分自身の生き方や人間関係に関する事、セクシュアリティに関する事など、様々な悩みや心配ごとについて相談を実施します。	人権推進課 各総合支所総務管理課	【久喜地区】 原則毎月10日13:15～16:15 特設相談:8月・1月10:00～15:00 久喜総合文化会館の会議室等で実施します。 【菖蒲地区】 原則毎月第3水曜日13:30～15:30 特設相談:7月10:00～15:00 菖蒲総合支所2階会議室で実施します。 【栗橋地区】 原則毎月第3木曜日13:30～15:30 特設相談:4月10:00～15:00 栗橋総合支所2階会議室等で実施します。 【鷺宮地区】 原則毎月第4月曜日9:30～11:30 特設相談:6月10:00～15:00 鷺宮総合支所4階会議室で実施します。	他の様々な相談事業と比較して、人権相談・女性相談は、市民に浸透しておらず、十分に活用されていないという課題を抱えています。このことから、市の各イベントや人権擁護委員の活動等を通して、人権相談・女性相談を広く市民へ浸透させていく必要があります。
	173	女性の悩み相談 (21年目)	配偶者等からの暴力に関する事や夫婦や家族に関する事など、女性の日常生活における様々な悩みや困りごとについて相談に応じます。	人権推進課	原則第1金曜日13:00～17:00、 4・5・8・9・10・1・2・3月の第3金曜日10:00～17:00、 6・7・11・12月の第3金曜日13:00～17:00、 特設相談:6月・11月の日曜日10:00～15:00を実施します。	第3次久喜市男女共同参画行動計画に基づき、令和9年度までに利用率100%を達成するために、周知方法を見直す必要があります。
	174	消費生活相談 (24年目)	消費生活に関する問題を抱える市民に対し、解決のための助言をします。	市民生活課 (消費生活センター)	月曜日～金曜日(10時～12時、13時～16時)に消費生活センターを開設し、消費生活相談員が消費生活に関する相談等に応じ、助言やアドバイスなどを行っています。 また、今後、2回程度、消費生活相談員による出前講座を実施する予定です。 ・相談件数:150件(7月末現在)	スマートフォンやインターネットの普及により、商品やサービス(ゲーム、動画等)の購入が容易になった反面、これらの解約をめぐるトラブルが増加しています。 出前講座等の開催など、自立した消費者の育成に向けた取り組みを充実していく必要があります。
	175	法律相談・行政相談 (36年目・年数不明)	法律や行政の仕組みに関して市民に対し、助言をします。	市民生活課	本庁舎や各総合支所で法律相談や行政相談を開催し、法律に関する相談や行政の仕組みなどに関する相談に応じています。 【法律相談】毎月5回開催、予約件数:120件 【行政相談】毎月1回開催、予約不要	法律相談に相談が集中している傾向があります。 法律相談の予約を受ける際、相談内容に応じて、利用できる他の相談窓口についても案内を行っているが、毎回、キャンセル待ちが多く発生している状況です。
	176	創業相談 (4年目)	創業に向けた助言、指導計画の作成方法等、創業時に必要な知識の習得をしていただけるよう努めます。	久喜ブランド推進課	久喜市商工会との共催により、久喜市創業塾(全5回)を開催予定です。 開催予定日 令和5年11月15日(水)、11月22日(水)、11月29日(水)、 12月6日(水)、12月13日(水)	久喜市商工会と連携し、効果的な周知方法を検討していく必要があります。
	177	成人健康相談 (年数不明)	血圧が気になる方、体重が気になる方等、各個人の健康に関する相談を実施します。	中央保健センター	健康に関する相談を希望する方に対し、保健師が電話や面接により実施します。	今後も広報、ホームページ等で周知に努めます。
	178	食生活相談 (年数不明)	食生活改善及び栄養に関する相談を実施します。	中央保健センター	食生活や栄養について相談を希望する方に対し、栄養士が電話や面接により、実施します。	今後も広報、ホームページ等で周知に努めます。
	179	家庭児童相談 (年数不明)	児童や家庭を取り巻く種々の相談を実施します。	子ども未来課	児童や家庭における相談を実施しました。令和5年度は7月末までに488件の相談を受け付けており、保護者の育児不安の軽減を図るとともに、関係機関との連携により家庭児童の福祉向上に寄与することができました。	相談によっては、関係機関が多岐に渡るため、円滑な支援ができるよう連携体制をさらに整える必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	4 2	支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 相談体制の強化				
	180	子育て相談・児童相談 (児童センター:33年目) (久支セ:16年目) (栗支セ:18年目) (鷲支セ:12年目) (鷲宮児童館:41年目)	保護者の子育てについての不安や悩み等の相談子どもに関する悩み等の相談を実施します。	児童センター 各地域子育て支援センター 鷲宮児童館	【児童センター】 令和5年度は7月末までに12件の相談がありました。 【久支セ】 令和5年度は7月末までに27件の相談がありました。 【栗支セ】 令和5年度は7月末までに8件の相談がありました。 【鷲支セ】 令和5年度は7月末までに15件の相談がありました。 【鷲宮児童館】 令和5年度は7月末までに2件の相談がありました。 保護者の不安の軽減に寄与しました。	より気軽に相談ができるように、SNSを利用するなどいろいろな方法で周知をする必要があります。
	181	育児相談 (年数不明)	育児に関する悩み等の相談を実施します。	子ども未来課 各市立保育園	育児相談を希望する方に対し、保育士が電話により実施します。	今後も広報、ホームページ等で周知に努めます。
	182	住宅耐震相談 (12年目)	耐震等に関して市民に助言をします。	建築審査課	令和5年度については、無料で実施している簡易耐震診断や耐震補強等助成金に関する周知を来庁または電話での耐震相談を受けた際に行っております。また、地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイトなどにも掲載しており積極的な広報を行っているところです。	住宅の耐震相談があった際、耐震補強等助成金の案内を行っております。しかし、耐震補強等助成金を利用して工事を行うまでには至っていないため、令和5年度より、要綱の一部を改正し、対象者の拡充を図るなどの対応を行っています。
	183	生涯学習相談 (年数不明)	市民のニーズにあわせた生涯学習に関する相談を実施します。	生涯学習課	市民大学・高齢者大学の関係する問合せや、出前講座、生涯学習人材バンク活用の相談等を受けた時に、速やかに案内をすることができました。	今後、各事業を幅広く市民に周知していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～
 施策 2 相談体制の強化

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
	184	市民活動の推進 (15年目)	市民活動に関する情報提供と啓発を行い、市民活動団体の特性をいかした社会貢献事業に財政支援して市民活動を推進します。	市民生活課	令和5年度は、4月から市民活動推進事業補助金の周知を行い、7団体から応募があり、審査の結果、7団体の事業を採択しました。 補助金交付決定額640,000円	立ち上げたばかりの団体やこれから活動を始める団体へ、当補助金の活用を促す必要があります。
	185	子ども育成団体への支援の充実 (子ども未来課:年数不明) (スポーツ振興課:12年目) (生涯学習課:年数不明)	スポーツ少年団、子ども会、ボーイスカウト、青少年育成市民会議、その他多くの子ども育成団体の活動を支援します。	子ども未来課 スポーツ振興課 生涯学習課	【子ども未来課】 青少年育成団体(8団体)に対し、活動費補助金を交付し、青少年の健全育成に寄与しました。 【スポーツ振興課】 スポーツ少年団本部において、活動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安定、充実を図ります。 【生涯学習課】 各団体の活動を支援するべく、補助金を交付しました。 ・久喜市子ども会育成連合会:500,000円 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:210,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円 各団体の事業完了後に実績報告をしていただく予定です。	【子ども未来課】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来実施していた事業等が縮小・中止となり、活動自体が少なくなっています。団体に対し、従来の事業にこだわらない新しい形の事業の提案等について検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 各種スポーツ団体の育成や支援を継続的に行っていきます。
	186	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援 (14年目)	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。	スポーツ振興課	スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会において、活動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安定、充実を図ります。	各種スポーツ団体の育成や支援を継続的に行っていきます。
	187	社会教育関係団体、スポーツ・レクリエーション団体への支援 (スポーツ・レクリエーション団体:14年目) (社会教育関係団体:年数不明)	社会教育関係団体やスポーツ・レクリエーション団体の各種事業の支援(文化団体連合会、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会育成連合会、PTA連合会、婦人会連合会)をします。	スポーツ振興課 生涯学習課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会に補助金を交付やスポーツ活動に親しむ活動の場の提供等を行っていきます。 【生涯学習課】 各団体の活動を支援するべく、補助金を交付しました。 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:210,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円 ・久喜市子ども会育成連合会:500,000円 ・久喜市PTA連合会:300,000円 ・久喜市久喜婦人会連合会:160,000円 ・久喜市小林婦人会:80,000円 ・久喜市栗橋婦人会:80,000円 各団体の事業完了後に実績報告をしていただく予定です。	【スポーツ振興課】 各種スポーツ団体の育成や支援を継続的に行っていきます。
支援体制の強化	188	市民スポーツ久喜・文連だよりなどの支援 (スポーツ協会:9年目) (文化団体連合会:年数不明)	スポーツ協会や文化団体連合会の広報紙の発行を支援します。	スポーツ振興課 生涯学習課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会において、活動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安定、充実を図ります。 【生涯学習課】 市内文化団体連合会等の広報紙の発行等について、団体に補助金を交付して支援しています。	【スポーツ振興課】 団体数及び会員数の減少が見られることから会員確保のための活動が必要で。 【生涯学習課】 市ホームページへの広報紙の掲載などにより、広報紙の内容について市民に広く周知していく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策	4 2	支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 相談体制の強化				
	189	総合型地域スポーツクラブの創設支援 ※再掲(連番No.141) (14年目)	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間:令和5年4月から令和6年3月まで 内容:市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知します。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	クラブの育成・支援を推進する体制を強化するとともに市民が気軽に参加できるスポーツの場として、持続的な運営のための支援をしていきます。
	190	コミュニティまつりの支援 (栗橋地区:年数不明) (鷲宮地区:41回目)	コミュニティまつりの円滑な運営の支援と、市民相互の交流と連帯感を高め、コミュニティづくりを推進します。	栗橋総合支所総務管理課 鷲宮総合支所総務管理課	【栗橋地区】 事業名:赤花そば栗橋やさしさときめき祭り 開催日:毎年11月第3日曜日 会場:栗橋文化会館、栗橋B&G海洋センター 趣旨:祭りを通じて、市民相互のふれあいと交流、ふるさと意識の醸成を図り、地域コミュニティの輪をさらに広げる機会とする。 参加者:令和4年度 約5,000人 【鷲宮地区】 令和5年5月14日(日)に第41回久喜市鷲宮地区コミュニティ祭りが実施され、42団体の参加を得て盛大に行われました。実施主体である久喜市鷲宮地区コミュニティ祭り実行委員会に対し、補助金の交付や運営の補助など、適切な支援を行いました。	【栗橋地区】 主催の「赤花そば栗橋やさしさときめき祭り実行委員会」の高齢化が進み、後継者不足が課題です。 また、参加団体でコロナ禍による活動中断後、解散状態になった団体があります。 【鷲宮地区】 参加団体数及び来場者数を増やし、市民相互の交流や連帯感を高めるとともに、今まで以上に市民主体でイベントを実施していく必要があります。
	191	文化団体の活動支援 (年数不明)	市民の文化的活動の振興を図り、文化団体の活動を支援します。	生涯学習課	市内4地区の文化団体連合会等に、次のとおり概算払いにて補助金を交付しました。 ①久喜文化団体連合会 975,000円 ②菖蒲町文化団体連合会 820,000円 ③栗橋文化協会 820,000円 ④鷲宮文化団体連合会 620,000円	高齢化等により会員が減少傾向にあることから、新たな会員の確保が必要です。また、文化活動を促進させるため、文化団体同士の情報交換や交流する場を設け、横の連携を図っていく必要があります。
	192	生涯学習活動団体の支援 (年数不明)	市民の生涯学習活動・ボランティア活動の振興・推進を図り、生涯学習活動団体の活動を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第24号を8月1日付け広報紙に折り込む形で発行しました。次号の第25号は令和6年1月1日発行予定です。 久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和6年3月3日(日)に開催予定です。各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただく大会となるようにします。	新たな活動団体の参加につながるよう、広報紙での活動紹介やチラシの配布等により、イベントの開催について広く周知していく必要があります。
	193	生涯学習推進会議・生涯学習推進部への積極的支援 (年数不明)	生涯学習推進会議及び生涯学習推進部が主体となって実施する事業展開を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習推進大会「まなびすとフォーラム」は、6月10日(土)に生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。「あなたにとって久喜のまちづくりとは」というテーマで、約90名の方に参加いただきました。8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。 久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は、令和6年3月3日(日)に開催予定です。各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただく大会となるようにします。	生涯学習推進部員の数が少なくなっているため、広報紙やイベント等を通じて、生涯学習推進部の活動紹介を広く周知し、部員数の増加につなげていく必要があります。また、生涯学習施設「まなびすポット」を積極的に活用し、生涯学習事業の更なる推進を図っていく必要があります。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化				
学校との連携	194	新・放課後子ども総合プランの推進 (10年目)	すべての子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な実施を推進します。	保育課 生涯学習課	【生涯学習課】 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と学習や体験や交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図り、一緒に活動することができています。	【生涯学習課】 放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加できるよう、講座内容や開催方法を工夫する必要があります。
	195	学校応援団 ※再掲(連番No.123.131.155) (13年目)	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等で学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和5年度は延べ11,013人の方が参画予定です。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に推進していきます。	児童の学習支援・体験活動だけでなく、教職員の学校における働き方改革を踏まえた活動としての充実をさらに図っていく必要があります。
	196	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実 ※再掲(連番No.154) (7年目)	保護者や地域の住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和5年度は、より充実した学校運営協議会のため、4月21日に市内全ての小・中学校の全委員集合型研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の定期的な開催に対し、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進していきます。	令和4年度のコミュニティ・スクールマイスターによる講演会や4月の実践発表会を踏まえ、本事業7年目となる令和5年度は、子供たちの探究的な学びへの効果的な参画を広める等、市内各学校運営協議会のさらなる充実を進めていく必要があります。
	197	地域学校協働活動の推進 ※再掲(連番No.157) (3年目)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができました。	地域学校協働活動推進員の高齢化が課題です。
	198	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ) ※再掲(連番No.18.125.158) (19年目)	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)での指導サポーター・下校サポーターとして活動を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに楽しい居場所を提供することができています。 ・参加予定児童数は:2,989人 ・開設講座数:402講座 ・実施委員人数:389人 ・サポーター数:1,905人 ・児童参加率:49.6%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
家庭との連携	199	PTA活動の充実 (1年目)	PTA活動の活性化と会員相互の資質の向上、学校・家庭・地域が連携し、子どもの健全な成長を支援します。	生涯学習課	令和5年6月17日付けで、久喜市PTA連合会は埼玉県PTA連合会を退会しました。上部団体を通じての会合や講演会がなくなった分、久喜市の子どもたちのための活動時間を増やしていく方針です。具体的には、10月に市長・教育長を交え、地域の課題などに関する意見交換会が予定されています。	PTA活動に対する理解をいかに深めていくかが課題です。
	200	子育て講座 ※再掲(連番No.25) (年数不明)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩み等を解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施予定です。9月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で勉強会を開催予定です。	埼玉県家庭教育アドバイザーの人材不足が課題です。
	201	家庭教育学級 ※再掲(連番No.26) (年数不明)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和5年度は、保育園から中学校まで合わせて、22の団体で実施する予定です。各団体で、子の年齢に合わせた家庭教育学級が計画されています。	補助金申請の手続きを明快に説明する必要があります。
	202	家庭教育支援チームの発足 ※新規 (1年目)	埼玉県家庭教育アドバイザーを中心とした支援チームを発足し、子育てサロンを開催します。	生涯学習課	埼玉県家庭教育アドバイザーを中心に「久喜市家庭教育支援チーム」を設置します。令和5年7月8日(土)には、設置に向けた打合せが開かれ、久喜市家庭教育支援チームの運営方法などが話し合われています。	家庭教育支援チームの人材不足が課題です。

令和5年度生涯学習関係事業中間報告書(令和5年7月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～
 施策 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化

具体的施策	連番	事業名	内容	関係課等	中間報告(成果)	課題
地域コミュニティとの連携	203	コミュニティ協議会運営事業 (団体により相違)	コミュニティ団体に対して、財政的支援及び事務的支援を行い、コミュニティづくりを推進します。	市民生活課 各総合支所総務管理課	【市民生活課】 令和5年度は、市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりづくりを促進するため、各コミュニティ団体に補助金を交付するなど、コミュニティづくりを支援しました。 ・コミュニティ推進協議会補助金(4地区) ・コミュニティ協議会補助金(13団体)	【市民生活課】 地域コミュニティづくりの目的や感染症対策を含めた課題を共有し、相互に役割を分担して活動できるよう地区コミュニティの組織化を推進、強化する必要があります。
	204	子どもの体験活動の場の充実 (33年目)	自主的な活動や遊び、センターで計画する行事への参加をとおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちの育成を目指します。	児童センター	令和5年度には123事業を企画し、7月末までに45事業を開催しました。また令和5年4月から7月の間に90日開館し、延べ5,915人が来所しました。	近隣地域の利用者が多いため、様々な地域の方に利用していただけるような企画が必要と考えます。
	205	地域子育て支援事業 (久支セ:16年目) (栗支セ:18年目) (鷲支セ:12年目)	子育て中の方が、安心して楽しく子育てができるようにします。	各地域子育て支援センター	【久支セ】 令和5年度には72事業を予定し、7月末までに29事業を開催しました。また、令和5年度4月から7月の間に84日開所し、延べ1,301人が利用しました。 【栗支セ】 令和5年度には84事業を予定し、7月末までに34事業を開催しました。また、令和5年度4月から7月の間に83日開所し、延べ2,108人が利用しました。 【鷲支セ】 令和5年度には60事業を予定し、7月末までに19事業を開催しました。また、令和5年度4月から7月の間に83日開所し、延べ3,004人が利用しました。	市内全域や市外の方等、幅広く利用していただけるような周知方法を考えていく必要があります。
	206	公民館事業の充実 ※再掲(連番No.149) (年数不明)	公民館事業運営委員の企画による事業を展開し、地域住民の交流を図ります。	生涯学習課	各公民館事業につきましては、各地区単位で19事業実施し、1,099人の参加がありました。 (●久喜中央地区:4事業66人●江面地区:3事業506人●久喜東地区:2事業291人●青葉地区:1事業10人●清久地区0事業0人●菖蒲地区:4事業73人●栗橋地区:2事業20人●鷲宮地区:3事業133人)	各地区単位で事業を企画し実施するため、同種の事業を同時期に行わないよう、調整を図る必要があります。
	207	コミュニティセンターまつり ※再掲(連番No.55.102.127) (年数不明)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により実施します。	生涯学習課	令和5年度は各地区文化祭を、コミュニティセンター(旧公民館)ごとに、次のとおり開催予定です。 ●久喜中央地区:11/17-11/19(久喜中央コミュニティセンター)●江面地区:11/11-11/12(農村センター)●久喜東地区:2/17-2/18(久喜東コミュニティセンター)●青葉地区:2/3-2/4(青葉コミュニティセンター)●清久地区:11/25-11/26(清久コミュニティセンター)●菖蒲地区:2/17-2/18(森下コミュニティセンター)●栗橋地区:2/17-2/18(栗橋中央コミュニティセンター)●鷲宮地区:2/10-2/11(鷲宮中央コミュニティセンター)	各地区文化祭が同時期に集中しているため、開催時期を分散する等調整を図る必要があります。